

統計

2020年度 疾患統計

Disease Statistics

高橋 菜摘
Natsumi Takahashi熊谷 三四郎
Sanshiro Kumagai箭原 明日菜
Asuna Yahara小金澤 真紀子
Makiko Koganezawa松嶋 ゆかり
Yukari Matsushima

2020年度疾患統計について、疾患コード別に年間疾患統計を報告する。

2020年4月1日から2021年3月31日までの期間に退院したDPC請求データをもとに、「最も医療資源を投入した疾患」をMDCコードおよび疾患コード別に報告する。

表1は、MDCコードの疾患統計で、MDC05（循環器系疾患）が1,455件（20.0%）で最も多く、次いでMDC06（消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患）が1,341件（18.4%）、MDC12（女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩）が668件（9.2%）となってい

る。

表2～19は、疾患コード別件数である。

表20は、全疾患コード件数の上位30で、050050（狭心症、慢性虚血性心疾患）が588件で最も多く、次いで050130（心不全）262件、040040（肺の悪性腫瘍）250件、110280（慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全）211件となっている。

※MDCコード…疾患コード6桁のうち、冒頭2桁 Major Diagnostic Categoryの略で、主要診断群のこと。

表1 MDCコード別疾患統計

MDCコード	MDC名称	件数	割合
MDC01	神経系疾患	598	8.2%
MDC02	眼科系疾患	243	3.3%
MDC03	耳鼻咽喉科系疾患	267	3.7%
MDC04	呼吸器系疾患	592	8.1%
MDC05	循環器系疾患	1,455	20.0%
MDC06	消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患	1,341	18.4%
MDC07	筋骨格系疾患	271	3.7%
MDC08	皮膚・皮下組織の疾患	200	2.7%
MDC09	乳房の疾患	70	1.0%
MDC10	内分泌・栄養・代謝に関する疾患	115	1.6%
MDC11	腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患	607	8.3%
MDC12	女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩	668	9.2%
MDC13	血液・造血器・免疫臓器の疾患	115	1.6%
MDC14	新生児疾患、先天性奇形	122	1.7%
MDC15	小児疾患	5	0.1%
MDC16	外傷・熱傷・中毒	442	6.1%
MDC17	精神疾患	15	0.2%
MDC18	その他	159	2.2%
	計	7,285	100.0%

表2 MDC01 神経系疾患

010010	脳腫瘍	35
010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	15
010030	未破裂脳動脈瘤	29
010040	非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）	51
010050	非外傷性硬膜下血腫	17
010060	脳梗塞	170
010061	一過性脳虚血発作	12
010069	脳卒中中の続発症	2
010070	脳血管障害	19
010080	脳脊髄の感染を伴う炎症	31
010083	結核性髄膜炎、髄膜脳炎	1
010086	プリオン病	1
010090	多発性硬化症	9
010100	脱髄性疾患（その他）	2
010110	免疫介在性・炎症性ニューロパチー	4
010111	遺伝性ニューロパチー	6
010120	特発性（単）ニューロパチー	3
010130	重症筋無力症	12
010140	筋疾患（その他）	5
010155	運動ニューロン疾患等	32
010160	パーキンソン病	49
010170	基底核等の変性疾患	17
010180	不随意運動	1
010190	遺伝性運動失調症	1
010200	水頭症	8
01021x	認知症	12
010220	その他の変性疾患	3
010230	てんかん	42
010240	片頭痛、頭痛症候群（その他）	1
010260	ウェルニッケ脳症	1
010290	自律神経系の障害	2
010310	脳の障害（その他）	5

表3 MDC02 眼科系疾患

02001x	角膜・眼及び付属器の悪性腫瘍	4
020110	白内障、水晶体の疾患	184
020140	網脈絡膜炎・網膜炎・急性網膜壊死	1
020220	緑内障	12
020230	眼瞼下垂	21
020250	結膜の障害	8
020280	角膜の障害	8
020320	眼瞼、涙器、眼窩の疾患	4
020380	眼球運動障害	1

表4 MDC03 耳鼻咽喉科系疾患

03001x	頭頸部悪性腫瘍	22
030150	耳・鼻・口腔・咽頭・大唾液腺の腫瘍	11
030220	ガン腫	2
030230	扁桃、アデノイドの慢性疾患	10
030240	扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽喉頭炎	37
030245	伝染性単核球症	1
030250	睡眠時無呼吸	63
030270	上気道炎	12
030280	声帯ポリープ、結節	1

030300	声帯の疾患（その他）	7
030320	鼻中隔彎曲症	1
030350	慢性副鼻腔炎	12
030360	副鼻腔膿瘍、鼻前庭膿瘍	1
030380	鼻出血	4
030390	顔面神経障害	19
030400	前庭機能障害	31
030425	聴覚の障害（その他）	1
030428	突発性難聴	18
030430	滲出性中耳炎、耳管炎、耳管閉塞	5
030440	慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫	6
030450	外耳の障害（その他）	3

表5 MDC04 呼吸器系疾患

040010	縦隔悪性腫瘍、縦隔・胸膜の悪性腫瘍	6
040030	呼吸器系の良性腫瘍	1
040040	肺の悪性腫瘍	250
040050	胸壁腫瘍、胸膜腫瘍	5
040080	肺炎等	72
040081	誤嚥性肺炎	85
040090	急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症（その他）	9
040100	喘息	44
040110	間質性肺炎	32
040120	慢性閉塞性肺疾患	16
040130	呼吸不全（その他）	4
040140	気道出血（その他）	3
040150	肺・縦隔の感染、膿瘍形成	16
040160	呼吸器の結核	4
040170	抗酸菌関連疾患（肺結核以外）	5
040190	胸水、胸膜の疾患（その他）	8
040200	気胸	15
040210	気管支拡張症	4
040220	横隔膜腫瘍・横隔膜疾患（新生児を含む。）	6
040240	肺循環疾患	1
040250	急性呼吸窮乏症候群	1
04026x	肺高血圧性疾患	2
040310	その他の呼吸器の障害	3

表6 MDC05 循環器系疾患

050020	心臓の良性腫瘍	2
050030	急性心筋梗塞（続発性合併症を含む。）、再発性心筋梗塞	91
050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	588
050060	心筋症（拡張型心筋症を含む。）	5
050070	頻脈性不整脈	169
050080	弁膜症（連合弁膜症を含む。）	21
050090	心内膜炎	3
050100	心筋炎	1
050110	急性心膜炎	1
050130	心不全	262
050140	高血圧性疾患	2
050161	解離性大動脈瘤	16
050162	破裂性大動脈瘤	4
050163	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤	56
050170	閉塞性動脈疾患	94
050180	静脈・リンパ管疾患	40
050190	肺塞栓症	10

050200	循環器疾患（その他）	10
050210	徐脈性不整脈	71
050340	その他の循環器の障害	9

表7 MDC06 消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患

060010	食道の悪性腫瘍（頸部を含む。）	21
060020	胃の悪性腫瘍	60
060030	小腸の悪性腫瘍、腹膜の悪性腫瘍	15
060035	結腸（虫垂を含む。）の悪性腫瘍	142
060040	直腸肛門（直腸S状部から肛門）の悪性腫瘍	42
060050	肝・肝内胆管の悪性腫瘍（続発性を含む。）	55
060060	胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍	75
06007x	膵臓、脾臓の腫瘍	46
060100	小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む。）	111
060102	穿孔又は膿瘍を伴わない憩室性疾患	31
060130	食道、胃、十二指腸、他腸の炎症（その他良性疾患）	42
060140	胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄（穿孔を伴わないもの）	31
060141	胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄（穿孔を伴うもの）	2
060150	虫垂炎	52
060160	鼠径ヘルニア	63
060170	閉塞、壊疽のない腹腔のヘルニア	19
060180	クローン病等	5
060185	潰瘍性大腸炎	3
060190	虚血性腸炎	27
060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	96
060220	直腸脱、肛門脱	3
060230	肛門周囲膿瘍	2
060270	劇症肝炎、急性肝不全、急性肝炎	3
060280	アルコール性肝障害	6
060290	慢性肝炎（慢性C型肝炎を除く。）	1
060295	慢性C型肝炎	1
060300	肝硬変（胆汁性肝硬変を含む。）	26
060310	肝膿瘍（細菌性・寄生虫性疾患を含む。）	1
060320	肝嚢胞	3
060330	胆嚢疾患（胆嚢結石など）	7
060335	胆嚢炎等	99
060340	胆管（肝内外）結石、胆管炎	132
060350	急性膵炎	24
060360	慢性膵炎（膵嚢胞を含む。）	11
060370	腹膜炎、腹腔内膿瘍（女性器臓器を除く。）	43
060380	ウイルス性腸炎	23
060390	細菌性腸炎	8
060391	偽膜性腸炎	2
060570	その他の消化管の障害	8

表8 MDC07 筋骨格系疾患

070010	骨軟部の良性腫瘍（脊椎脊髄を除く。）	22
070040	骨の悪性腫瘍（脊椎を除く。）	20
070041	軟部の悪性腫瘍（脊髄を除く。）	1
070070	骨髄炎（上肢）	1
070071	骨髄炎（上肢以外）	3
070080	滑膜炎、腱鞘炎、軟骨などの炎症（上肢）	1
070085	滑膜炎、腱鞘炎、軟骨などの炎症（上肢以外）	2
07010x	化膿性関節炎（下肢）	3
070160	上肢末梢神経麻痺	19

070200	手関節症（変形性を含む。）	3
070210	下肢の変形	2
070230	膝関節症（変形性を含む。）	75
070280	骨端症、骨軟骨障害・骨壊死、発育期の膝関節障害	1
070330	脊椎感染（感染を含む。）	5
07034x	脊柱管狭窄（脊椎症を含む。）	3
070341	脊柱管狭窄（脊椎症を含む。） 頸部	2
070343	脊柱管狭窄（脊椎症を含む。） 腰部骨盤、不安定椎	26
070350	椎間板変性、ヘルニア	9
070370	脊椎骨粗鬆症	5
070390	線維芽細胞性障害	2
070395	壊死性筋膜炎	6
07040x	股関節骨頭壊死、股関節症（変形性を含む。）	18
070430	神経異栄養症、骨成長障害、骨障害（その他）	1
070470	関節リウマチ	9
070510	痛風、関節の障害（その他）	5
070520	リンパ節、リンパ管の疾患	3
070560	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患	10
070570	癭痕拘縮	7
070590	血管腫、リンパ管腫	1
071030	その他の筋骨格系・結合組織の疾患	6

表9 MDC08 皮膚・皮下組織の疾患

080006	皮膚の悪性腫瘍（黒色腫以外）	18
080007	皮膚の良性新生物	2
080010	膿皮症	48
080020	帯状疱疹	45
080030	疱疹（帯状疱疹を除く。）、その類症	1
080080	痒疹、蕁麻疹	1
080090	紅斑症	2
080105	重症薬疹	4
080110	水疱症	3
080140	炎症性角化症	1
080150	爪の疾患	3
080180	母斑、母斑症	1
080220	エクリン汗腺の障害、アポクリン汗腺の障害	3
080250	褥瘡潰瘍	4
080270	食物アレルギー	64

表10 MDC09 乳房の疾患

090010	乳房の悪性腫瘍	67
090020	乳房の良性腫瘍	3

表11 MDC10 内分泌・栄養・代謝に関する疾患

100020	甲状腺の悪性腫瘍	10
100040	糖尿病性ケトアシドーシス、非ケトン昏睡	10
10006x	1型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）	2
10007x	2型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）	13
10008x	その他の糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）	5
100100	糖尿病足病変	8
100150	慢性甲状腺炎	1
100160	甲状腺機能低下症	1
100180	副腎皮質機能亢進症、非機能性副腎皮質腫瘍	4
100202	その他の副腎皮質機能低下症	1
100210	低血糖症	2
100260	下垂体機能亢進症	5

100330	栄養障害（その他）	1
100335	代謝障害（その他）	2
100360	小人症	1
100380	体液量減少症	23
100391	低カリウム血症	3
100393	その他の体液・電解質・酸塩基平衡障害	23

表12 MDC11 腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患

11001x	腎腫瘍	18
11002x	性器の悪性腫瘍	2
11004x	尿道・性器の良性腫瘍	2
110050	後腹膜疾患	5
110060	腎盂・尿管の悪性腫瘍	16
110070	膀胱腫瘍	93
110080	前立腺の悪性腫瘍	65
11012x	上部尿路疾患	58
11013x	下部尿路疾患	13
110200	前立腺肥大症等	8
11022x	男性生殖器疾患	18
110260	ネフローゼ症候群	2
110280	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	211
110290	急性腎不全	19
110310	腎臓又は尿路の感染症	67
110320	腎、泌尿器の疾患（その他）	4
110420	水腎症等	6

表13 MDC12 女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩

120010	卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍	61
12002x	子宮頸・体部の悪性腫瘍	124
120060	子宮の良性腫瘍	45
120070	卵巣の良性腫瘍	32
120100	子宮内膜症	12
120110	子宮・子宮附属器の炎症性疾患	6
120120	卵巣・卵管・広間膜の非炎症性疾患	3
120130	異所性妊娠（子宮外妊娠）	2
120140	流産	25
120150	妊娠早期の出血	5
120160	妊娠高血圧症候群関連疾患	11
120165	妊娠合併症等	71
120170	早産、切迫早産	39
120180	胎児及び胎児付属物の異常	97
120182	前置胎盤及び低置胎盤	2
120185	（常位）胎盤早期剥離	1
120190	女性生殖系の炎症性疾患（その他）	2
120200	妊娠中の糖尿病	1
120210	女性性器を含む瘻	2
120220	女性性器のポリープ	8
120230	子宮の非炎症性障害	8
120250	生殖・月経周期に関連する病態	5
120260	分娩の異常	105
120270	産褥期を中心とするその他の疾患	1

表14 MDC13 血液・造血器・免疫臓器の疾患

130010	急性白血病	7
--------	-------	---

130020	ホジキン病	2
130030	非ホジキンリンパ腫	58
130040	多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物	4
130050	骨髄増殖性腫瘍	2
130060	骨髄異形成症候群	6
130070	白血球疾患（その他）	4
130080	再生不良性貧血	1
130090	貧血（その他）	14
130100	播種性血管内凝固症候群	7
130110	出血性疾患（その他）	3
130111	アレルギー性紫斑病	1
130120	血液疾患（その他）	1
130130	凝固異常（その他）	5

表15 MDC14 新生児疾患、先天性奇形

140010	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害	106
140140	口蓋・口唇先天性疾患	2
140170	正中頸嚢胞・側頸嚢胞	1
140210	先天性耳瘻孔、副耳	4
140245	舌・口腔・咽頭の先天異常	1
14029x	動脈管開存症、心房中隔欠損症	1
140420	腸重積	1
140430	腸管の先天異常	1
140490	手足先天性疾患	1
140550	先天性嚢胞性腎疾患	1
140580	先天性下部尿路疾患	1
140590	停留精巣	1
140600	女性性器の先天性異常	1

表16 MDC15 小児疾患

150040	熱性けいれん	1
150070	川崎病	4

表17 MDC16 外傷・熱傷・中毒

160100	頭蓋・頭蓋内損傷	38
160200	顔面損傷（口腔、咽頭損傷を含む。）	12
160250	眼損傷	1
160300	喉頭・頸部気管損傷	1
160400	胸郭・横隔膜損傷	3
160440	外耳・中耳損傷（異物を含む。）	1
160450	肺・胸部気管・気管支損傷	4
160510	肝・胆道・膵・脾損傷	5
160570	腹部血管損傷	1
160575	その他腹腔内臓器の損傷	3
160580	腹壁損傷	2
160610	四肢筋腱損傷	23
160620	肘、膝の外傷（スポーツ障害等を含む。）	12
160650	コンパートメント症候群	1
160660	皮下軟部損傷・挫減損傷、開放創	2
160690	胸椎、腰椎以下骨折損傷（胸・腰部損傷を含む。）	33
160700	鎖骨・肩甲骨の骨折	17
160720	肩関節周辺骨折・脱臼	12
160740	肘関節周辺骨折・脱臼	8
160760	前腕の骨折	36
160780	手関節周辺骨折・脱臼	7
160790	手関節周辺開放骨折	1

160800	股関節・大腿近位の骨折	110
160820	膝関節周辺の骨折・脱臼	15
160830	膝関節周辺の開放骨折	1
160835	下腿足関節周辺の骨折	12
160850	足関節・足部の骨折・脱臼	23
160870	頸椎頸髄損傷	5
160980	骨盤損傷	17
160990	多部位外傷	8
161000	熱傷・化学熱傷・凍傷・電撃傷	3
161020	体温異常	1
161040	損傷の続発性、後遺症	2
161060	詳細不明の損傷等	6
161070	薬物中毒（その他の中毒）	16

表19 MDC18 その他

180010	敗血症	56
180030	その他の感染症（真菌を除く。）	56
180035	その他の真菌感染症	3
180040	手術・処置等の合併症	21
180050	その他の悪性腫瘍	3
180060	その他の新生物	20

表18 MDC17 精神疾患

170010	アルコール依存症候群	2
170020	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	1
170030	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	3
170040	気分〔感情〕障害	2
170050	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	3
170060	その他の精神及び行動の障害	4

表20 疾患コード上位30

上位	疾患コード	名 称	件数
1	050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	588
2	050130	心不全	262
3	040040	肺の悪性腫瘍	250
4	110280	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	211
5	020110	白内障、水晶体の疾患	184
6	010060	脳梗塞	170
7	050070	頻脈性不整脈	169
8	060035	結腸（虫垂を含む。）の悪性腫瘍	142
9	060340	胆管（肝内外）結石、胆管炎	132
10	12002x	子宮頸・体部の悪性腫瘍	124
11	060100	小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む。）	111
12	160800	股関節・大腿近位の骨折	110
13	140010	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害	106
14	120260	分娩の異常	105
15	060335	胆嚢炎等	99
16	120180	胎児及び胎児付属物の異常	97
17	060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	96
18	050170	閉塞性動脈疾患	94
19	110070	膀胱腫瘍	93
20	050030	急性心筋梗塞（続発性合併症を含む。）、再発性心筋梗塞	91
21	040081	誤嚥性肺炎	85
22	060060	胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍	75
23	070230	膝関節症（変形性を含む。）	75
24	040080	肺炎等	72
25	050210	徐脈性不整脈	71
26	120165	妊娠合併症等	71
27	090010	乳房の悪性腫瘍	67
28	110310	腎臓又は尿路の感染症	67
29	110080	前立腺の悪性腫瘍	65
30	080270	食物アレルギー	64

統計

令和2年当院における時間外受診者状況及び救急車等搬入状況

Statistics of outpatients in the emergency room of Sunagawa City Medical Center

明円 彬 平賀 裕介 上村 光 中村 優 関口 僚
Akira Myoen Yusuke Hiraga Hikaru Uemura Yu Nakamura Ryo Sekiguchi

川端 祥子 市川 史誠 小柳 貴敬 倉島 久徳
Sachiko Kawabata Fuminari Ichikawa Takayuki Koyanagi Hisanori Kurashima

要 旨

当院の令和2年時間外受診者状況と救急車等患者搬入状況について集計を行ったので報告する。

Key words : Statistics, Outpatients, Emergency

はじめに

当院は、昭和15年の開院以来、幾多の困難を乗り越え中空知地域の基幹病院として地域センター病院、災害拠点病院、地域がん診療拠点病院、地域周産期母子医療センター、第2種感染症指定医療機関など数多くの指定を受けるに至っている。

昭和43年に建設された本館をはじめ施設の老朽化等により新病院建設に着手し、平成22年10月に新本館を開院、翌年10月には南館を開院させ、地域住民が安心して受診できる施設整備と診療体制を構築してきた。

中空知地域に不足していた救急医療体制の整備を図り、平成23年12月には地域救命救急センターの指定を受けた。平成25年12月には更なる重症患者の救命率向上を図ることを目的にドクターカーの運行を開始し、令和3年8月からは南空知に位置する美唄市からの要請にも対応を拡大したところである。

調査方法

期間：令和2年1月1日から令和2年12月31日までの1年間

対象：救急外来時間外受診者、ドクターヘリ・ドクターカー受診者

方法：救急患者一覧表より集計

※時間外とは、平日の診療時間外（午後5時から翌日午前8時30分）と休日（土曜、日曜、祝祭日の午前8時30分から翌日午前8時30分）のことである。

調査内容

- 1) 来院方法/ 転帰（時間外受診者）（表1）
- 2) 受付診療科 / 転帰（時間外受診者）（表2）
- 3) 年齢層 / 転帰（時間外受診者）（表3）
- 4) 住所 / 転帰（時間外受診者）（表4）
- 5) ドクターヘリによる要請（搬入）状況（表5）
- 6) ドクターカーによる要請（搬入）状況（表6）

考 察

表1より、診療時間外であろうと救急車はもちろんのこと、ドクターヘリ・他院からの転院搬送の受け入れを行っていることがわかる。また、令和2年は新型コロナウイルス感染症が流行したことから、保健所依頼による検査・入院が発生したため来院方法に追加している。受診者数は25%程度減少しているが、独歩でも年間6000人以上来院し救急車・ドクターヘリも受け入れていることから、一次救急から三次救急まで・24時間365日医療を提供していると言える。また、ここ3年上がり続けていた帰宅患者割合が5%程度下がったのは軽症者の受診控えの影響と考えている。

表2より、救急科だけでなく、他21診療科で受付実績があることから、入院・帰宅にかかわらず必要に応じて容態に合わせた専門的な医療の提供が行なわれていたことがわかる。

表3より、年々受診者割合が増加していた0~9歳が

5%減少している。表より軽症者の受診控えの影響が若年層により現れていることがわかる。

表4より、中空知医療圏が87.2%、それ以外の地域が12.8%占めている。二次医療圏を超えた地域からも一定割合受診者がいることから、当院が地域救命救急センター病院として機能をしていることがわかる。住所患者割合では、砂川市が徐々に減少していて他市町村の割合が徐々に大きくなってきている。当院が三次救急により力を注ぐためには、軽症者に関しては他病院の救急外来と連携していく必要がある。

表5より、入院を要する外傷が大半を占めている。

表6より、ドクターカーへの要請は6件あり、市内だけでなく近隣市町村からの要請もあり、重症患者の救命率向上を図れていると考えている。

おわりに

令和2年はコロナ禍という特殊な状況であった。その中でも、「地域救命救急センター病院」として中空知医療圏を中心に数多くの時間外受診者を受け入れてきた。当院の救急外来は地域に対して重要な役割を担っているのではなく、必要不可欠なものになっていることがこの集計で改めて認識した。地域に根ざし、地域に愛され、貢献する病院を実現するためにも、今後も統計の集計を続け、分析し、報告していきたい。

表1 来院方法／転帰 (時間外受診者)

《令和元年》

	入院	転院	死亡	帰宅	総計	来院方法割合	帰宅患者割合	総計	来院方法割合	帰宅患者割合
ヘリコプター	3	1	-	-	4	0.1%	0.0%	4	0.0%	50.0%
救急車	683	4	28	597	1312	17.1%	45.5%	1514	15.1%	50.5%
救急車(転院)	138	1	-	12	151	2.0%	7.9%	161	1.6%	11.2%
独歩	911	5	3	5249	6168	80.3%	85.1%	8318	83.2%	88.5%
保健所	5	-	-	39	44	0.6%	88.6%		-	-
病院車・福祉タクシー	2	-	-	-	2	0.0%	0.0%	4	0.0%	25.0%
総計	1742	11	31	5897	7681	100.0%	76.8%	10001	100.0%	81.5%

表2 受付診療科／転帰 (時間外受診者)

	入院	転院	死亡	帰宅	総計
眼科				24	24
救急科	26		27	4954	5007
形成外科	9			141	150
呼吸器内科	9			15	24
産婦人科	317			191	508
歯科	2			21	23
耳鼻咽喉科	31			40	71
循環器内科	214	1	1	21	237
小児科	59		1	56	116
消化器外科	177	1		133	311
心臓血管外科	24	1	1	3	29
整形外科	120	3		52	175
精神科	38			19	57
内科	395	3	1	115	514
乳腺外科	2			11	13
脳神経外科	169			21	190
脳神経内科	73			16	89
泌尿器科	54	1		36	91
皮膚科	21			26	47
放射線治療科				2	2
放射線診療科		1			1
麻酔科	2				2
総計	1742	11	31	5897	7681

表3 年齢層／転帰 (時間外受診者)

《令和元年》

《平成30年》

《平成29年》

	入院	転院	死亡	帰宅	総計	年齢層割合	帰宅患者割合	年齢層割合	帰宅患者割合	年齢層割合	帰宅患者割合	年齢層割合	帰宅患者割合
0～9	51	-	1	1157	1209	15.7%	95.7%	21.1%	94.8%	20.4%	93.0%	18.2%	93.6%
10～19	30	-	-	425	455	5.9%	93.4%	6.8%	94.4%	7.0%	94.0%	6.8%	95.2%
20～29	155	-	-	496	651	8.5%	76.2%	8.1%	81.5%	8.6%	79.3%	9.2%	80.4%
30～39	177	-	-	434	611	8.0%	71.0%	8.9%	76.0%	9.2%	76.8%	9.4%	78.6%
40～49	97	2		466	565	7.4%	82.5%	7.7%	87.8%	7.2%	86.1%	6.6%	85.3%
50～59	94	3	3	491	591	7.7%	83.1%	6.3%	86.5%	6.7%	84.2%	6.3%	82.0%
60～69	219	2	3	613	837	10.9%	73.2%	9.8%	78.0%	11.1%	79.2%	12.3%	76.4%
70～79	345	1	6	902	1254	16.3%	71.9%	14.0%	76.1%	12.9%	74.6%	13.7%	72.8%
80歳以上	574	3	18	913	1508	19.6%	60.5%	17.3%	64.4%	16.9%	66.1%	17.5%	64.6%
総計	1742	11	31	5897	7681	100.0%	76.8%	100.0%	81.5%	100.0%	80.9%	100.0%	79.8%

令和2年当院における時間外受診者状況及び救急車等搬入状況

表4 住所／転帰（時間外受診者）

《令和元年》《平成30年》《平成29年》

	入院	転院	死亡	帰宅	総計	住所患者割合	住所患者割合	住所患者割合	住所患者割合
砂川市	430		14	1931	2375	30.9%	31.9%	34.6%	34.1%
滝川市	300	3	1	1004	1308	17.0%	17.3%	14.9%	13.8%
奈井江町	126	1	2	490	619	8.1%	7.5%	8.6%	8.3%
上砂川町	113		4	433	550	7.2%	7.0%	7.4%	7.1%
新十津川町	82		2	417	501	6.5%	6.8%	5.7%	6.1%
歌志内市	117	1	1	319	438	5.7%	4.5%	5.2%	5.9%
赤平市	101		2	285	388	5.1%	5.0%	4.0%	4.2%
芦別市	67	1		192	260	3.4%	3.7%	3.2%	3.9%
浦白町	50	2	3	153	208	2.7%	2.4%	2.7%	2.2%
雨竜町	15			32	47	0.6%	0.8%	0.7%	0.6%
美瑛市	173	3	1	324	501	6.5%	5.9%	6.3%	6.3%
その他（道内）	146		1	292	439	5.7%	6.3%	5.9%	6.5%
その他（道外）	22			25	47	0.6%	0.9%	0.9%	1.0%
総計	1742	11	31	5897	7681	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表5 ドクターヘリによる要請（搬入）状況

区分	件数	出動ヘリ	要請者	要請分類	転帰
1月	0				
2月	0				
3月	3	手稲溪仁会病院	美瑛消防	重症外傷	転院
		旭川赤十字病院	沼田消防	交通事故	入院
		旭川赤十字病院	旭川市忠和消防	交通事故	入院
4月	0				
5月	0				
6月	1	旭川赤十字病院	深川消防	外傷	入院
7月	1	旭川赤十字病院	芦別消防	交通事故	入院
8月	3	旭川赤十字病院	芦別消防	交通事故	入院
		旭川赤十字病院	深川消防	交通事故	入院
		旭川赤十字病院	富良野消防	重症外傷	入院
9月	0				
10月	1	手稲溪仁会病院	浜益消防	急病	入院
11月	0				
12月	0				
合計	9				

表6 ドクターカーによ要請（搬入）状況

区分	件数	要請者	要請分類
1月	0		
2月	2	砂 川 消 防	急 病
		砂 川 消 防	急 病
3月	2	砂 川 消 防	急 病
		新 十 津 川 消 防	外 傷
4月	1	歌 志 内 消 防	急 病
5月	0		
6月	0		
7月	0		
8月	0		
9月	1	江 竜 消 防	外 傷
10月	0		
11月	0		
12月	0		
合計	6		

統計

過去5年間の砂川市立病院事業収支状況

Report of economic status in the Sunagawa City Medical Center for last 5 years

堀下 直樹 大和田 泰世
Naoki Horishita Taisei Oowada

要 旨

当院における過去5年間の病院事業収支を報告する。

1. 病院経営状況

(1) 収益的収支 (3条)

(単位：円)

		H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度		
収 入	病院事業収益	12,528,158,918	13,496,583,418	13,636,068,883	13,749,928,178	14,167,403,821		
	医業収益	11,077,233,857	11,973,932,261	11,950,456,309	12,105,928,748	11,530,498,810		
	医業外収益	1,158,332,038	1,175,506,266	1,192,018,424	1,186,631,838	2,170,090,848		
	看護専門学校収益	96,921,446	95,517,273	95,773,298	101,092,403	94,318,682		
	院内保育事業収益	16,618,334	17,593,700	18,445,400	20,242,500	22,505,500		
	特別利益	179,053,243	234,033,918	379,375,452	336,032,689	349,989,981		
支 出	病院事業費用	13,217,172,935	13,695,839,587	13,997,238,153	14,292,368,244	14,254,928,949		
	医業費用	12,952,907,493	13,437,684,152	13,743,116,971	14,002,314,575	13,670,052,754		
	医業外費用	107,630,826	98,552,597	93,442,934	88,863,731	83,620,844		
	看護専門学校費用	109,962,962	113,198,078	117,210,276	132,254,313	119,927,121		
	院内保育事業費用	30,921,061	30,038,682	35,192,387	35,230,297	39,843,042		
	特別損失	15,750,593	16,366,078	8,275,585	33,705,328	341,485,188		
純	利	益	△ 689,014,017	△ 199,256,169	△ 361,169,270	△ 542,440,066	△ 87,525,128	
経	常	利	益	△ 852,316,667	△ 416,924,009	△ 732,269,137	△ 844,767,427	△ 96,029,921

(2) 資本的収支 (4条)

(単位：円)

		H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
収 入	資本的収入	760,284,000	1,173,164,500	969,067,000	969,406,272	1,103,443,228
	企業債	305,900,000	686,100,000	452,400,000	394,800,000	271,300,000
	投資償還金	10,772,000	9,747,500	10,384,000	7,132,500	6,639,000
	補助金	496,000	0	650,000	0	112,230,000
	出資金	406,361,000	451,402,000	468,411,000	487,449,000	595,078,000
	寄附金	36,755,000	25,915,000	37,222,000	80,024,772	118,196,228
支 出	資本的支出	1,132,763,444	1,615,874,621	1,418,347,712	1,408,516,014	1,546,433,449
	建設改良費	331,920,992	720,814,128	486,125,543	428,504,694	511,675,467
	企業債償還金	769,882,452	861,010,493	900,722,169	949,021,320	1,002,387,982
	投資	30,960,000	34,050,000	31,500,000	30,990,000	32,370,000
収支差		△ 372,479,444	△ 442,710,121	△ 449,280,712	△ 439,109,742	△ 442,990,221
補 填 財 源	当年度調整額	680,504	1,447,654	1,038,883	873,312	1,235,411
	過年度留保資金	371,798,940	441,262,467	448,241,829	438,236,430	441,754,810
	繰越利益剰余金処分額	-	-	-	-	-

(3) 収益的収支比率

(単位：%)

	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
総収支比率	94.8	98.5	97.4	96.2	99.4
経常収支比率	93.5	97.0	94.8	94.1	99.3
医業収支比率	85.5	89.1	87.0	86.5	84.3

(4) 人件費比率 (医業収益対職員給与費)

(単位：%/円)

	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
人件費比率	61.7	60.4	62.5	62.7	64.3
給与費	6,829,116,477	7,227,680,307	7,472,977,299	7,595,706,119	7,419,492,614

(5) 企業債の状況

(単位：円)

	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
前年度末残高	14,517,760,026	14,053,777,574	13,878,867,081	13,430,544,912	12,876,323,592
当年度借入額	305,900,000	686,100,000	452,400,000	394,800,000	271,300,000
当年度償還額	769,882,452	861,010,493	900,722,169	949,021,320	1,002,387,982
当年度残高	14,053,777,574	13,878,867,081	13,430,544,912	12,876,323,592	12,145,235,610

2. 業務量

(1) 患者数

(単位：人／日)

	H28年度		H29年度		H30年度		R元年度		R2年度		
	患者数	一日平均	患者数	一日平均	患者数	一日平均	患者数	一日平均	患者数	一日平均	
入院	内科	26,693	73.1	29,187	80.0	29,315	80.3	28,596	78.1	23,139	63.4
	呼吸器内科	-	-	-	-	-	-	-	-	2,700	7.4
	精神科	20,657	56.6	22,367	61.3	20,948	57.4	21,275	58.1	17,429	47.8
	脳神経内科	5,923	16.2	7,915	21.7	7,354	20.1	9,096	24.9	9,211	25.2
	循環器内科	14,064	38.5	16,785	46.0	15,551	42.6	14,914	40.7	13,744	37.7
	小児科	2,497	6.8	2,813	7.7	3,627	9.9	2,924	8.0	1,859	5.1
	消化器外科	8,503	23.3	8,117	22.2	7,716	21.1	7,585	20.7	8,688	23.8
	乳腺外科	399	1.1	901	2.5	825	2.3	809	2.2	845	2.3
	緩和ケア外科	1,073	2.9	1,086	3.0	622	1.7	294	0.8	23	0.1
	整形外科	17,342	47.5	20,336	55.7	20,459	56.1	18,432	50.4	16,416	45.0
	形成外科	2,553	7.0	3,254	8.9	2,750	7.5	3,583	9.8	2,607	7.1
	脳神経外科	11,250	30.8	8,474	23.2	8,146	22.3	7,694	21.0	6,555	18.0
	呼吸器外科	0	0.0	0	0.0	0	0.0	12	0.0	0	0.0
	心臓血管外科	2,867	7.9	3,305	9.1	3,103	9.1	3,402	8.5	2,401	6.6
	皮膚科	885	2.4	967	2.6	1,314	3.6	1,519	4.2	1,357	3.7
	泌尿器科	6,951	19.0	7,321	20.1	6,334	17.4	7,171	19.6	5,198	14.2
	人工透析外科	-	-	-	-	-	-	-	-	717	2.0
	産婦人科	7,653	21.0	8,624	23.6	8,678	23.8	6,917	18.9	6,623	18.1
	眼科	1,264	3.5	1,116	3.1	1,012	2.8	1,019	2.8	851	2.3
	耳鼻咽喉科	2,719	7.4	2,159	5.9	2,310	6.3	2,060	5.6	2,035	5.6
	放射線診断科	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	放射線治療科	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	麻酔科	30	0.1	0	0.0	8	0.0	249	0.7	4	0.0
	心療内科	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0.0
	救急科	4,727	13.0	4,608	12.6	4,576	12.5	129	0.4	854	2.3
	歯科	-	-	148	-	693	1.9	1,010	2.8	1,050	2.9
	合計	138,050	378.2	149,335	409.1	144,648	396.3	138,690	378.9	124,306	340.6
	診療実日数		365		365		365		366		365
外来	内科	39,804	163.8	38,477	157.7	37,039	151.8	35,554	148.1	29,979	123.4
	呼吸器内科	-	-	-	-	-	-	-	-	4,436	18.3
	精神科	20,543	84.5	20,806	85.3	18,826	77.2	17,274	72.0	14,577	60.0
	脳神経内科	5,207	21.4	5,698	23.4	6,285	25.8	6,389	26.6	6,794	28.0
	循環器内科	27,385	112.7	28,002	114.8	25,942	106.3	25,133	104.7	22,500	92.6
	小児科	14,286	58.8	14,776	60.6	15,788	64.7	16,219	67.6	11,011	45.3
	消化器外科	6,827	28.1	6,652	27.3	6,144	25.2	5,906	24.6	5,925	24.4
	乳腺外科	1,413	5.8	2,317	9.5	2,677	11.0	2,851	11.9	3,084	12.7
	緩和ケア外科	60	0.2	102	0.4	101	0.4	68	0.3	30	0.1
	整形外科	36,408	149.8	36,322	148.9	36,668	150.3	34,076	142.0	28,234	116.2
	形成外科	5,985	24.6	5,802	23.8	4,966	20.4	5,914	24.6	4,287	17.6
	脳神経外科	4,427	18.2	4,265	17.5	3,918	16.1	3,666	15.3	2,977	12.3
	呼吸器外科	0	0.0	212	0.9	366	1.5	484	2.0	513	2.1
	心臓血管外科	2,682	11.0	2,265	9.3	2,066	8.5	1,906	7.9	1,488	6.1
	皮膚科	22,054	90.8	21,759	89.2	22,284	91.3	22,355	93.1	19,840	81.6
	泌尿器科	24,770	101.9	23,415	96.0	23,385	95.8	21,664	90.3	13,243	54.5
	人工透析外科	-	-	-	-	-	-	-	-	7,358	30.3
	産婦人科	12,363	50.9	12,985	53.2	13,047	53.5	12,766	53.2	13,898	57.2
	眼科	11,126	45.8	11,546	47.3	11,187	45.8	11,365	47.4	10,534	43.3
	耳鼻咽喉科	7,395	30.4	7,423	30.4	8,324	34.1	7,963	33.2	6,746	27.8
	放射線診断科	327	1.3	335	1.4	377	1.5	395	1.6	335	1.4
	放射線治療科	1,532	6.3	1,875	7.7	2,092	8.6	2,076	8.7	1,428	5.9
	麻酔科	356	1.5	289	1.2	222	0.9	251	1.0	174	0.7
	心療内科	-	-	-	-	-	-	-	-	71	0.3
	救急科	7,577	31.2	7,667	31.4	7,864	32.2	7,849	32.7	5,518	22.7
	歯科	2,145	8.8	4,675	19.2	7,962	32.6	9,659	40.2	8,920	36.7
	合計	254,672	1,048.0	257,665	1,056.0	257,530	1,055.5	251,783	1,049.1	223,900	921.4
	診療実日数		243		244		244		240		243

(2) 入院・外来患者数と1日平均単価

(単位：人/日/円)

		H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
入院	患者延数	138,050	149,335	144,648	138,690	124,306
	診療実日数	365	365	365	366	365
	一日平均患者数	378.2	409.1	396.3	378.9	340.6
	一日平均単価	56,271	56,695	57,827	61,116	64,960
外来	患者延数	254,672	257,665	257,530	251,783	223,900
	診療実日数	243	244	244	240	243
	一日平均患者数	1,048.0	1,056.0	1,055.5	1,049.1	921.4
	一日平均単価	12,074	12,625	12,927	13,417	14,332
入院収益		7,768,188,329	8,466,521,964	8,364,568,174	8,476,196,410	8,074,967,295
外来収益		3,075,004,187	3,253,147,254	3,329,023,103	3,378,139,617	3,208,867,060

(3) 病床利用状況

(単位：床/%/人)

		H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
一般	病床数	408	408	408	408	408
	病床利用率	78.6	85.1	83.1	78.4	71.3
	年延入院患者数	117,007	126,742	123,722	117,099	106,172
	年延病床数	148,920	148,920	148,920	149,328	148,920
精神	病床数	80	80	80	80	80
	病床利用率	70.6	76.5	71.7	72.6	59.5
	年延入院患者数	20,623	22,350	20,938	21,243	17,380
	年延病床数	29,200	29,200	29,200	29,280	29,200
結核	病床数	6	6	6	6	6
	病床利用率	19.2	17.9	31.1	13.4	10.3
	年延入院患者数	420	391	681	295	225
	年延病床数	2,190	2,190	2,190	2,196	2,190
感染	病床数	4	4	4	4	4
	病床利用率	0	0	0	4	36.2
	年延入院患者数	0	0	0	53	529
	年延病床数	1,460	1,460	1,460	1,464	1,460
合計	病床数	498	498	498	498	498
	病床利用率	75.9	82.2	80.0	76.1	68.4
	年延入院患者数	138,050	149,483	145,341	138,690	124,306
	年延病床数	181,770	181,770	181,770	182,268	181,770

※26年度精神病床数 4/1~8床減

3. 職員の状況

(1) 部門別職員数

(単位：人)

		H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
医 師	職 員	71	75	73	74	78
	そ の 他	20	20	22	21	19
看 護 師	職 員	425	445	470	470	475
	そ の 他	41	37	36	44	44
医 療 技 術 員	職 員	125	131	140	144	144
	そ の 他	11	13	15	13	11
事 務 員	職 員	43	46	48	53	52
	そ の 他	37	36	47	42	45
労 務 員	職 員	31	32	33	36	41
	そ の 他	80	76	73	74	74
計	職 員	695	729	764	777	790
	そ の 他	189	182	193	194	193
看 護 専 門 校 学 校	職 員	10	11	12	13	13
	そ の 他	2	1	2	2	2
合 計	職 員	705	740	776	790	803
	そ の 他	191	183	195	196	195
総 合 計		896	923	971	986	998

統計

手術室の年間集計報告（2020年）

Annual report of statistics of surgical operation

川村 昌経
Masanori Kawamura

要 旨

当院の2020年の手術室で行われた手術について集計を行ったので報告する。

Key Word : Annual report , Surgical operation

はじめに

当手術室は中空知の基幹病院としての機能を有する。2010年の新病院移行後より、全8室で運用が開始し、2014年にハイブリット手術室が造設され、現在は全9室で運用している。2016年に外科が消化器外科と乳腺外科に機能分化し、2017年に歯科が歯科口腔外科へ名称変更している。2020年に当院手術室で行われた手術について集計を行ったので報告する。

調査方法

期間：2020年1月1日から12月31日までの1年間

（2012年1月1日から2018年12月31日までは過去データを引用）

対象：手術室で行われた手術症例

方法：当院の手術統計より集計

※同一患者に複数の手術が行われることがあり、手術患者数と各科の手術内訳の件数は一致しない。なお、この年間集計は診療報酬点数表に基づいたKコードにより分類している。

調査内容

- 1) 2020年 総手術件数
- 2) 2020年 臨時手術件数
- 3) 2020年 麻酔科管理手術件数
- 4) 2020年 手術患者の男女比（表1）
- 5) 2020年 手術患者の年齢分布比率（図1、2）
- 6) 診療科別症例数の前年との比較（表2、図3）

7) 2012年からの総手術件数と各診療科の手術件数の推移

8) 2019、2020年の月別手術件数の比較（表3）

9) 2020年 各診療科手術患者数と手術内訳（表4~18）

考 察

手術室において実施された総手術件数は、3756件（前年よりも395件減少）であった。そのうち臨時手術件数は557件で全体の14.8%（前年は626件15%）であり、麻酔科管理手術件数は2524件で、全体の67.2%（前年は2711件65.3%）であった。年齢別に見ると、70歳代が最多であった。70歳以上の手術患者数は1873名で、全体の49.9%と約半数を占めている。（前年は51.0%）（表1・図1）

2020年はCOVID-19による手術制限や不急手術の延期が要請された為に、手術件数に大きく影響した。

（表3）特に手術制限を行った5月と12月では、100件以上前年より減少した。診療科別では歯科と循環器、消化器外科以外が前年より減少していた。診療科毎の年間手術件数では、歯科と循環器内科が増加し、消化器外科は横ばい、その他は前年より減少した。（表2・図3）

年齢や男女比については、例年と大きな変化は見られていない。20歳代からの女性の手術患者数が男性に比べ多い傾向であるのは、周産期医療センターとして機能を有する為だと考える。（図2）

<診療科別の特徴について>

心臓血管外科でのMICS（低侵襲心臓手術）は2019年には2件行われたが、2020年は行われていない。

腹腔鏡下手術については、消化器外科と泌尿器科では横ばいであったが、産婦人科は2倍以上に増加している。背景として自科で腹腔鏡手術装置を所有したことが要因にあると考える。

※消化器外科：（2020年270件、2019年281件）

※泌尿器科：（2020年22件、2019年20件）

※産婦人科：（2020年112件、2019年42件）

循環器内科の全身麻酔下でのカテーテルアブレーション治療が73件で前年より25.6%増となっている。

（局麻下で行われるカテーテルアブレーション治療は手術室として関与していないため、統計から除外して

いる。）

歯科は開設以来手術件数を増やし、前年より10%増となっている。

おわりに

2020年はCOVID-19の影響で、手術制限が2度行われ、不急手術の延期があった。手術制限解除後も、手術件数は平年以下で推移した。術後の面会制限や病棟編成の変化、外来受診患者の減少、その他の要因等も複雑に関係していると考えられる。アフターコロナの状況で手術件数が回復するか、今後の動向を調査・分析を継続して報告していきたい。

表1

	男	女	計
0～9歳	35	19	54
10～19歳	40	43	83
20～29歳	45	105	150
30～39歳	55	145	200
40～49歳	90	224	314
50～59歳	141	255	396
60～69歳	348	338	686
70～79歳	524	580	1104
80～89歳	316	365	681
90～99歳	32	54	86
100歳以上	0	2	2
計	1626	2130	3756

表2

	2019年	2020年	増減
精神神経科	247	241	△ 6
循環器内科	137	142	5
消化器外科	408	408	0
整形外科	633	566	△ 67
形成外科	575	473	△ 102
脳神経外科	127	99	△ 28
心臓血管外科	341	290	△ 51
泌尿器科	295	267	△ 28
産婦人科	321	302	△ 19
眼科	505	450	△ 55
耳鼻咽喉科	149	113	△ 36
麻酔科	53	36	△ 17
救急科	1	0	△ 1
歯科	230	254	24
乳腺外科	127	114	△ 13
内科	2	1	△ 1
計	4151	3756	△ 395

図1 年齢分布図

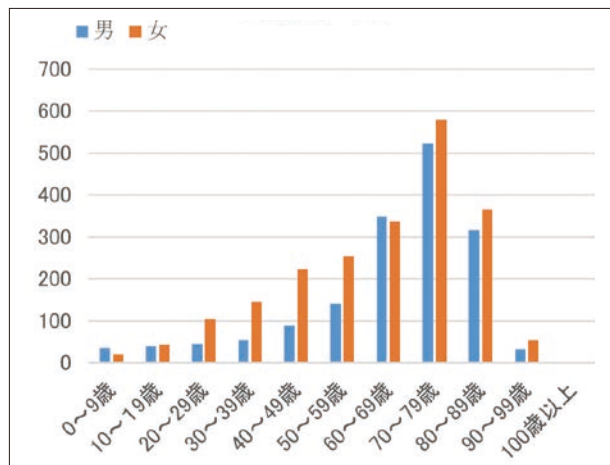


図3

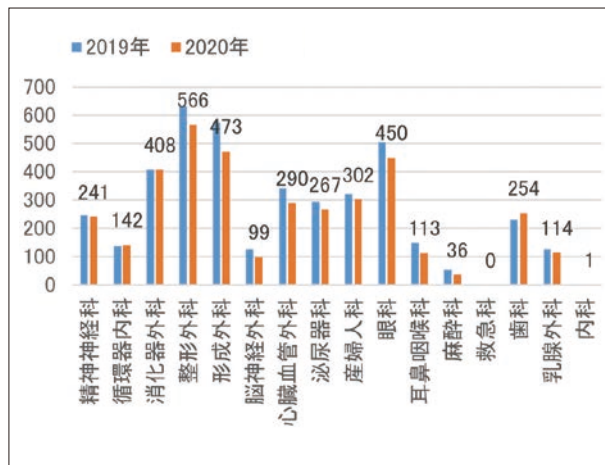


図2 年齢比率

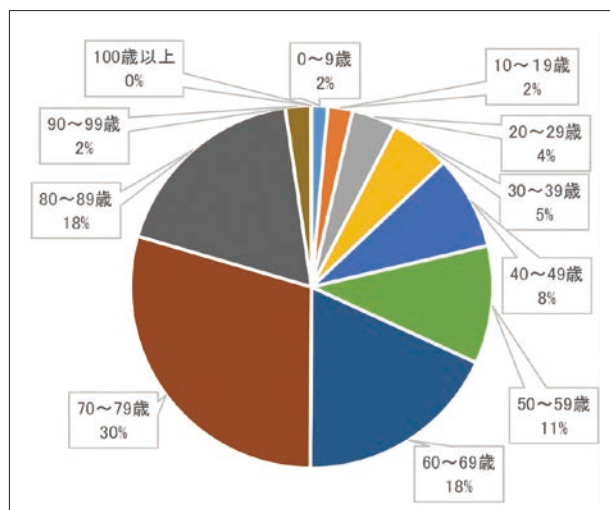
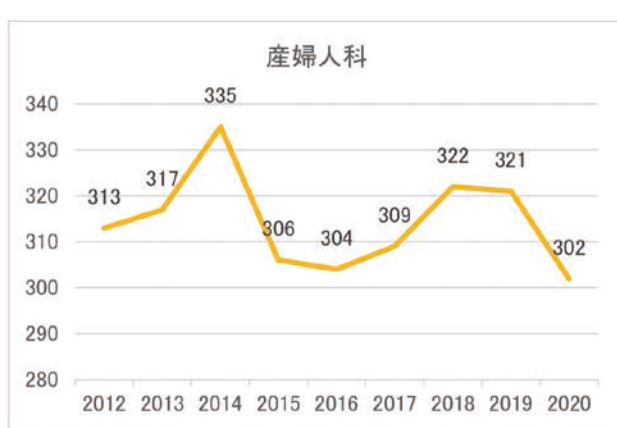
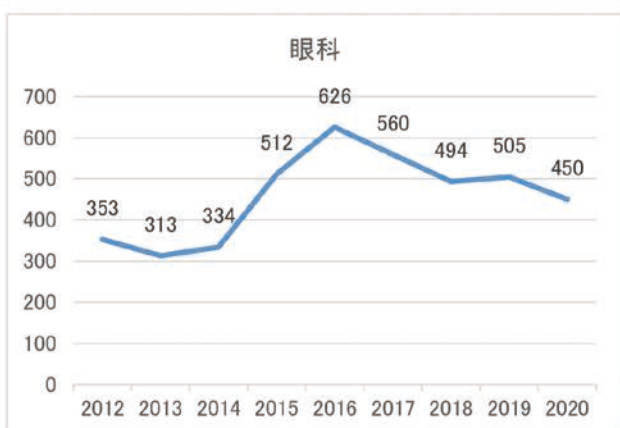
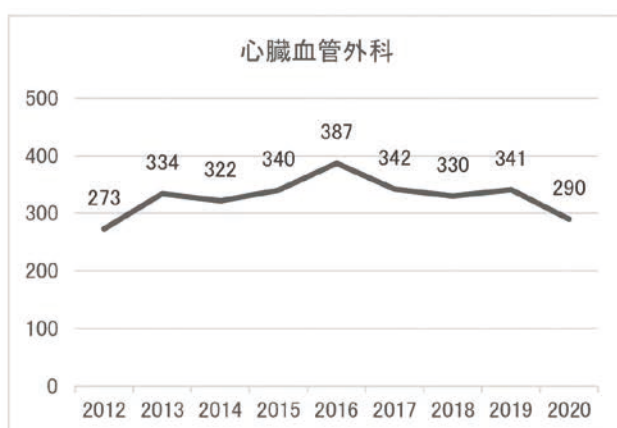
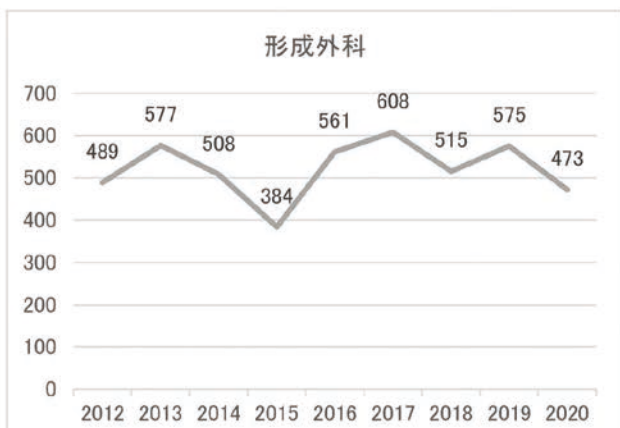
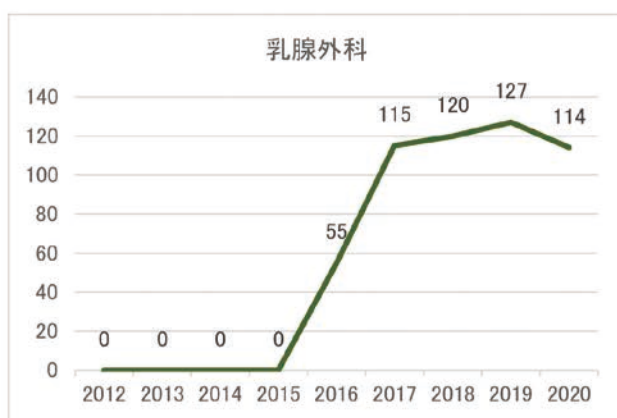
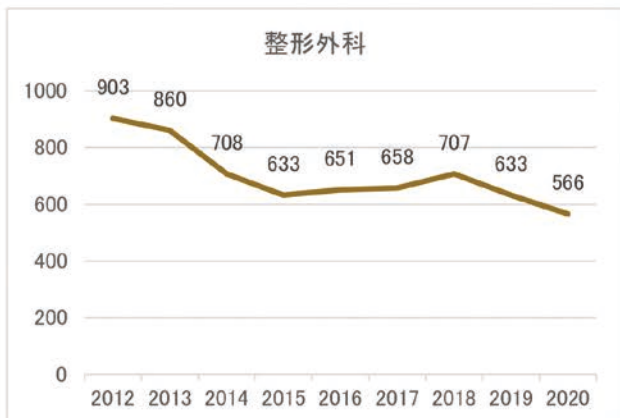
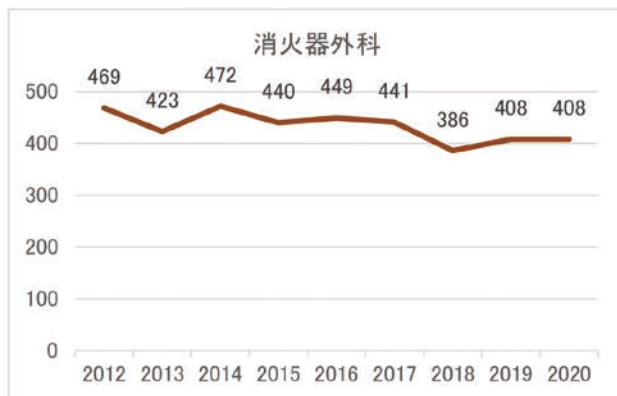
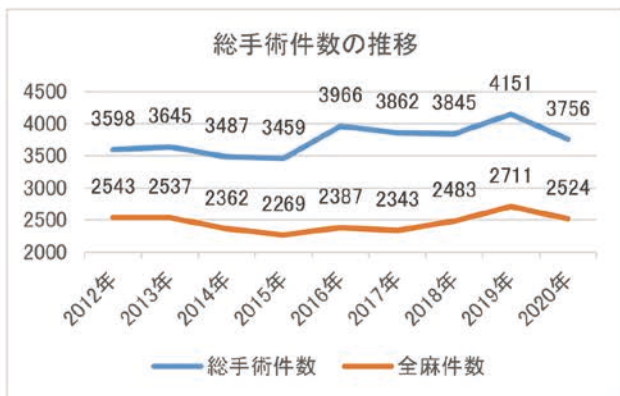


表3

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
2019	346	328	357	317	300	380	
2020	349	349	354	263	195	304	
	3	21	△ 3	△ 54	△ 105	△ 76	
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
	364	360	321	358	354	366	4151
	340	338	317	354	357	236	3756
	△ 24	△ 22	△ 4	△ 4	3	△ 130	△ 395



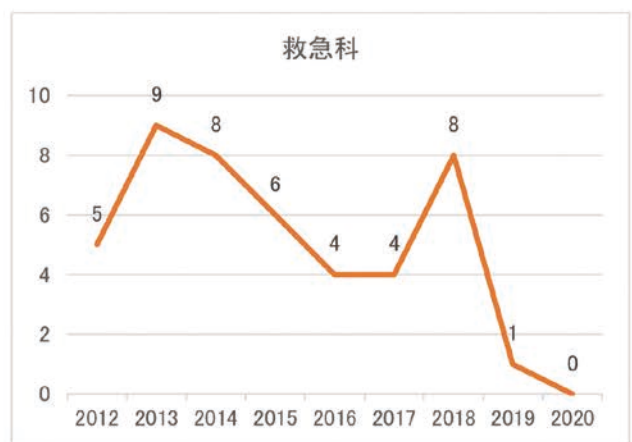
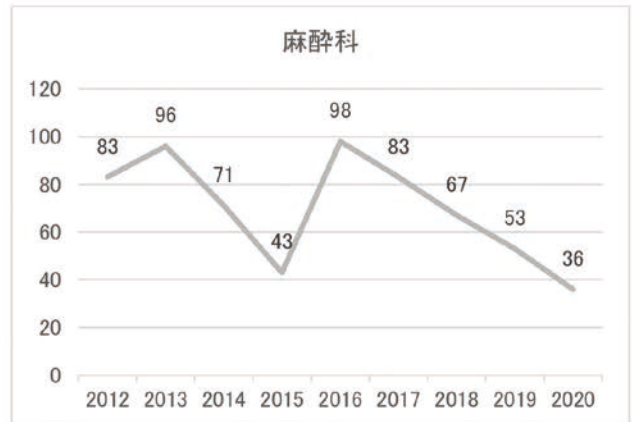
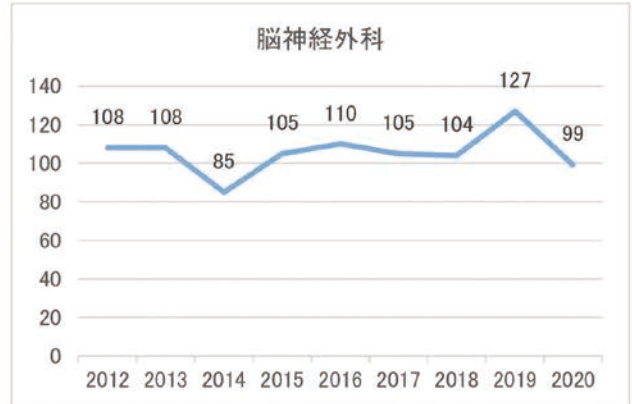
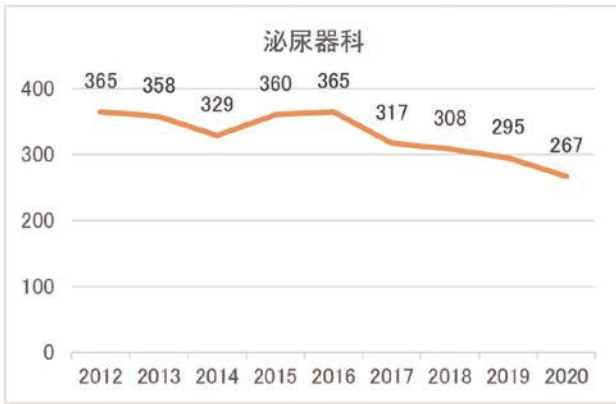


表4 整形外科	2019	2020			
創傷処理	4	4	滑液膜摘出術	1	0
皮膚皮下腫瘍摘出術	1	1	関節鏡下関節鼠摘出術	1	0
動脈皮弁術	0	1	関節鏡下半月板切除術	13	11
筋膜切開術	0	2	関節鏡下半月板縫合術	7	8
腱鞘切開術	43	30	関節鏡下三角線維軟骨複合体切除・縫合術	1	1
腱剥離術	0	1	ガングリオン摘出術	4	1
股関節内転筋切離術	0	1	関節内骨折観血の手術		
四肢・体幹軟部腫瘍摘出術	3	0	肩、股、膝	17	17
腱縫合術	4	2	胸鎖、肘、手、足	54	53
アキレス腱断裂手術	5	4	指（手、足）	3	1
指伸筋腱脱臼観血の整復術	0	2	関節鏡下関節内骨折観血の手術	0	1
腓骨筋腱腱鞘形成術	0	1	靭帯断裂縫合術	1	2
腱移植術	2	0	靭帯断裂形成手術	0	2
腱移行術	1	5	観血的関節受動術	1	0
骨折経皮的鋼線刺入固定術			間接鏡下関節授動術術（肩）	1	0
前腕	7	4	観血的関節制動術（足）	1	0
上腕	1	11	観血的関節固定術	6	3
鎖骨、膝蓋骨、手、足、指（手、足）	6	0	関節鏡下靭帯断裂形成術	3	3
骨折観血の手術			関節形成術	3	2
肩甲骨、上腕、大腿	80	92	関節鏡下肩腱板断裂手術	20	10
前腕・下腿、手舟状骨	44	28	関節鏡下肩関節唇形成術	2	0
鎖骨、膝蓋骨、手、足、指（手、足）	35	24	人工骨頭挿入術		
観血的整復固定術（インプラント周囲骨折）	2	4	股	39	35
一時的創外固定骨折治療術	11	8	肩	1	1
骨内異物除去術			人工関節置換術		
上腕、大腿	10	7	股	17	15
前腕、下腿	52	47	膝	46	64
鎖骨、膝蓋骨、手、足、指（手、足）	22	16	肩	7	4
腐骨摘出術 大腿	0	1	肘	0	0
骨腫瘍切除術	2	1	指・手	2	2
骨部分切除術 下腿	0	0	人工関節抜去術		
骨切り術	12	7	肩	0	0
偽関節手術	1	0	股	2	0
骨長調整手術骨短縮術	1	0	膝	0	0
骨移植術	20	16	人工関節再置換術		
化膿性又は結核性関節炎搔把術	3	1	股	3	2
関節脱臼非観血の整復術			人工股関節摺動面交換術	0	1
股	2	3	直達牽引	0	2
肩	3	0	四肢切断術（下腿・大腿）	2	2
肘	1	0	断端形成術（指・手）	1	0
手・指	0	0	手根管開放術	36	17
関節脱臼観血の手術	3	3	デュブイトレン拘縮手術	2	3
関節内異物除去（肘）	1	0	手掌屈筋腱縫合術	0	1
関節滑膜切除術	0	1	母指対立再建術	5	3
関節鏡下関節内異物除去術（肩）	4	2	第一足趾外反症矯正手術	3	2
関節鏡下関節内異物除去術（膝）	6	9	寛骨臼骨折観血の手術	1	3
関節鏡下関節内異物除去術（股）	1	0	骨盤骨折観血の手術	2	1
関節鏡下関節内異物除去術（足）	0	1	脊椎内異物除去術	0	1
			内視鏡下椎間板摘出術（後方）	1	0

脊椎固定、椎弓切除、椎弓形成		
椎弓切除術	1	1
体外式脊椎固定具（ベスト式）	0	1
椎弓形成術	18	14
前方固定	0	0
後方、後側方固定	6	3
後方椎体固定	13	11
椎間板摘出術	4	2
歯突起骨折骨接合術	0	1
寛骨臼移動術	1	0
脊髄腫瘍摘出術（髄外）	0	1
神経移行術	6	3
神経移植術	0	1
動脈吻合術	0	1
入室後手術中止	1	1
計	755	655
手術患者数	633	565

腹腔鏡下尿管膜摘除	0	1
経皮的腎瘻造設術	3	3
経皮的膀胱瘻造設術	1	2
精巣水腫根治術	1	1
骨盤臓器脱手術（TVM）	0	0
女子尿失禁根治術（スリング手術）	0	0
ブラッドアクセス造設術	0	0
CAPD用チューブ設置術	7	8
CAPD用チューブ修復術	4	2
CAPD用チューブ抜去術	3	7
経皮的腎生検	14	7
体外衝撃波碎石術（ESWL）	27	37
シャントPTA	33	65
コンジローマ切除	0	0
尿道カルンクル切除	0	1
切開排膿	1	1
計	336	364
手術患者数	295	267

表5 泌尿器科 2019 2020

体腔鏡下腎摘除術	0	3
体腔鏡下腎摘除術	6	9
根治的腎摘除	0	1
体腔鏡下腎部分切除術	5	2
腎部分切除術	0	0
腎尿管全摘術（体腔鏡補助下手術を含む）	5(3)	2(1)
経尿道の尿管結石砕石術（TUL）	50	48
尿管部分切除	0	1
尿管膀胱新吻合（psoas hitch法、Boari flap法）	0	1
根治的膀胱尿道全摘術	0	2
体腔鏡下膀胱全摘術	2	2
回腸導管造設術	1	3
尿管皮膚瘻	1	1
経尿道の膀胱腫瘍切除術（TUR-BT）	7	1
経尿道の膀胱生検術（TU-biopsy）	2	0
経尿道の膀胱砕石術	9	6
膀胱部分切除	0	2
経尿道の電気凝固術（TU-EC）	2	2
根治的前立腺全摘除術	6	1
経尿道的前立腺切除術	12	7
両側精巣摘除術（除睾術）	0	3
前立腺生検	65	54
高位精巣摘除術	3	0
陰茎切断術、外尿道口形成術	1	0
鼠径リンパ節郭清術	0	1
精巣固定術	2	1
包皮環状切除術	1	5
経尿道的内尿道切開術	3	8
精索静脈瘤根治術	0	1
後腹膜腫瘍摘除術	0	2

表6 消化器外科 2019 2020

創傷処置(CVポート抜去含む)	11	7
中心静脈注射用埋込型カテーテル設置	2	10
皮下腫瘍摘出術	1	0
皮膚悪性腫瘍切除術	1	0
腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア手術	1	2
動脈形成術（腹腔内動脈）	1	1
抗悪性腫瘍剤持続注入埋込カテ設置	0	1
中心静脈栄養用埋込型カテーテル設置	3	1
中心静脈注射用植込型カテーテル設置	0	4
リンパ節摘出術	2	4
ヘルニア手術		
腹壁癒痕ヘルニア	6	4
腹腔鏡下ヘルニア手術(腹壁癒痕)	2	2
腹腔鏡下ヘルニア手術(閉鎖孔)	0	3
臍ヘルニア	2	5
鼠径ヘルニア(片側)	22	24
鼠径ヘルニア(両側)	36	35
大腿ヘルニア	1	2
ダメージコントロール手術	1	0
腹腔鏡下試験開腹術	1	3
腹腔鏡下試験切除術	3	3
試験開腹術	5	4
限局性腹腔膿瘍手術	0	1
腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術	6	7
急性汎発性腹膜炎手術	13	7
腸間膜損傷手術	0	1
大網腫瘍摘出術	0	1
腹腔鏡下胃・十二指腸潰瘍穿孔縫合術	4	5
胃縫合術	2	0

腹腔鏡下胃局所切除術	1	0
腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍)	11	6
腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍)	0	1
胃全摘術	5	0
腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍)	2	3
胃腸吻合術（ブラウン吻合含む）	1	0
腹腔鏡下胃腸吻合術	10	0
胆嚢摘出術	7	2
腹腔鏡下胆嚢摘出術	96	96
総胆管胃（腸）吻合術	1	0
胆嚢外瘻造設術	1	0
胆管悪性腫瘍手術	0	1
肝縫合術	0	3
肝切除術	5	1
腹腔鏡下肝切除術	4	2
急性膵炎手術（感染性壊死部切除を伴うもの）	0	1
膵体尾部腫瘍切除術	0	2
膵頭部腫瘍切除術	0	6
脾摘出術	1	2
腸管癒着症手術	8	6
腹腔鏡下腸管癒着症手術	4	5
小腸切除術	9	5
腹腔鏡下小腸切除術（悪性腫瘍以外）	6	3
腹腔鏡下小腸切除術（悪性腫瘍）	2	1
虫垂切除術	2	6
腸閉塞症手術（小腸切除）	0	3
虫垂切除術	0	1
腹腔鏡下虫垂切除術	30	29
結腸切除術（小範囲）	11	14
腹腔鏡下結腸切除術(小範囲)	5	4
結腸切除術（悪性腫瘍）	4	6
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍手術	42	39
腸瘻造設	2	1
腹腔鏡下人工肛門造設術	24	22
人工肛門造設術	13	14
人工肛門閉鎖術	9	0
腹腔鏡下腸閉鎖症手術	0	1
結腸瘻閉鎖術	0	1
人工肛門閉鎖術	0	5
人工肛門形成術	0	1
直腸周囲膿瘍切開術	2	1
直腸腫瘍摘出術	2	0
直腸切除・切断術	2	6
腹腔鏡下直腸切除・切断術	17	16
直腸脱手術	1	0
痔核手術	1	0
肛門周囲膿瘍切開術	1	0
腔壁裂創縫合術（直腸損傷を伴う）	1	0
胃ファイバースコープ	1	0

入室後手術中止	0	1
計	469	454
手術患者数	408	407

表7 乳腺外科	2019	2020
創傷処理筋肉、臓器に達する	14	13
リンパ節等穿刺又は針生検	9	8
乳腺膿瘍切開術		2
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術	54	51
乳腺腫瘍摘出術（長径5cm未満）	1	
乳腺腫瘍摘出術（長径5cm以上）	1	
乳腺悪性腫瘍手術 （乳房部分切除術・腋窩部郭清伴わず）	22	20
乳腺悪性腫瘍手術 （乳房切除術・腋窩部郭清伴わず）	26	20
乳腺悪性腫瘍手術 （乳房部分切除術・内視鏡下）	2	3
乳腺悪性腫瘍手術 （乳房切除術・胸筋切除伴施なし）	8	9
リンパ節摘出術（直径3cm以上）	0	3
リンパ節群廓清術（腋窩）	0	1
計	138	130
手術患者数	127	115

表8 眼科	2019	2020
霰粒腫摘出術	1	1
眼瞼結膜腫瘍手術	0	1
翼状片手術(弁の移植を要するもの)	9	9
治療的角膜切除術	0	5
緑内障手術	0	1
虹彩整復・瞳孔形成術	0	1
水晶体再建術(眼内レンズを挿入する場合)	510	448
水晶体再建術(眼内レンズを挿入しない場合)	2	1
硝子体切除術	9	2
入室後手術中止	0	1
計	531	470
手術患者数	505	450

表9 形成外科	2019	2020
創傷処理（筋肉・臓器に達するもの）	8	11
創傷処理（筋肉・臓器に達しないもの）	1	2
小児創傷処理	5	1
皮膚切開	11	7
デブリードマン	38	65
皮膚、皮下、粘膜血管腫摘出術（露出部）	13	6
皮膚、皮下、粘膜血管腫摘出術（露出部以外）	0	2
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）	245	192
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）	117	101
皮膚悪性腫瘍切除術	29	24

腋臭症手術	2	5
癬痕拘縮形成術	7	7
顔面神経麻痺形成術	1	0
分層植皮	17	25
全層植皮	16	12
皮弁形成術、移動術、切断術	52	42
動脈（皮）弁術、筋（皮）弁術	9	15
遊離皮弁術（顕微鏡下血管柄付）	1	0
複合組織移植術	0	1
粘膜移植術	1	1
組織拡張器による再建手術乳房の場合	2	1
筋肉内異物摘出術	1	1
四肢・軀幹軟部腫瘍摘出術	14	23
腱延長術	0	1
腱剥離術	1	0
腱縫合術	4	0
腱移植術（人工腱形成術を含む）指（手足）	2	0
骨折観血の手術 指（手・足）	1	0
骨部分切除術 大腿	1	0
腐骨摘出術	13	19
骨移植術（軟骨移植術含む）自家骨移植	0	1
ガングリオン摘出術	3	4
関節形成手術（指・手）	2	0
四肢切断術 足・指・大腿	13	2
断端形成術（骨形成を要す）	7	2
陥入爪手術	6	5
手掌、足底部異物摘出術	2	1
手掌屈筋腱縫合術	1	0
指癬痕拘縮手術	1	1
涙管チューブ挿入術	1	0
涙小管形成手術	0	1
眼瞼結膜腫瘍手術	1	0
眼瞼結膜悪性腫瘍手術	2	0
眼瞼内反症手術	30	16
眼瞼下垂症手術	123	60
内眦形成術	4	0
眼窩内異物除去術	0	1
眼窩骨折観血の手術	2	1
眼窩内腫瘍摘出術	2	0
眼窩悪性腫瘍手術	1	0
副耳切除	2	2
耳介腫瘍摘出術	3	0
耳介形成術	0	4
鼻骨骨折徒手整復術	1	5
鼻骨骨折整復固定術	0	1
口唇腫瘍摘出術	2	0
口唇裂形成手術	0	2
頬骨骨折観血の整復術	2	2
再建乳房乳頭形成術	1	1

ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術	0	4
毛巣洞手術	2	0
リンパ節摘出術	0	2
女子外性器悪性腫瘍手術	0	1
入室後手術中止	3	0
計	829	683
手術患者数	575	473

表10 心臓血管外科 2019 2020

組織試験採取(心筋)	0	1
中心静脈カテーテル挿入	1	2
カフ型緊急用ブラッドアクセスカテーテル挿入	2	3
創傷処理筋肉・臓器に達する	5	5
創傷処理筋肉・臓器に達しない	0	1
EDチューブ挿入術	1	0
心膜穿刺	1	0
試験開胸術	0	4
胸腔鏡下試験切除術	0	1
腔鏡下試験切除術	0	1
胸腔鏡下膿胸腔搔爬術	0	2
胸腔鏡下拡大胸腺摘出術	0	1
胸腔鏡下胸膜肺胝切除術	1	0
胸腔鏡下肺切除術	9	7
胸腔鏡下肺縫縮術	2	1
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術	1	23
心筋縫合止血術（外傷性）	1	1
胸腔鏡下心膜開窓術	1	0
縦隔腫瘍摘出術	0	1
胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術	0	1
試験開心術	0	1
心膜切開術	1	0
心腫瘍摘出術	0	2
冠動脈形成術（血栓内膜摘除）	0	1
冠動脈バイパス移植術（人工心肺なし）	11	10
冠動脈バイパス移植術（人工心肺あり）	3	5
左室自由壁破裂修復術	0	1
弁形成術	5	2
胸腔鏡下弁形成術	2	0
弁置換術	17	12
弁輪拡大術を伴う大動脈弁置換術	0	1
大動脈瘤切除術	10	13
オープン型ステントグラフト内挿術	2	9
ステントグラフト内挿入術	29	18
胸部	23	25
腹部	12	10
腸骨	1	0
血管損傷の場合	1	0
心室中隔欠損閉鎖術	2	1
バルサルバ洞動脈瘤手術	1	0
不整脈手術（メイズ）	8	2

不整脈手術 (左心耳閉鎖術)	0	12
体外ペースメーカー	8	12
ペースメーカー移植術 (心筋電極)	1	0
大動脈バルーンパンピング法	3	2
人工心肺 (初日)	35	36
経皮的心肺補助法	2	3
血管結紮術	2	1
血管縫合術	10	5
動脈塞栓除去術	4	0
内シヤント血栓除去術	3	2
四肢の血栓除去術	0	
動脈血栓内膜摘出術	7	3
動脈形成術、吻合術	4	3
血管移植術	0	1
内シヤント設置術	48	12
末梢動静脈瘻増設術	0	29
バイパス移植術	34	26
経皮の大動脈遮断術	1	0
血管塞栓術	14	10
経皮的シヤント拡張術・血栓除去術	1	7
経皮的シヤント血栓除去術	0	2
四肢の血管拡張術・血栓除去術	22	17
下肢静脈瘤手術(硬化療法)	13	7
下肢静脈瘤血管内焼灼術	69	39
静脈形成術	0	1
当日再手術	1	0
術中術後自己血回収術	42	43
準備後手術中止	0	2
計	495	444
手術患者数	341	290

表11 耳鼻咽喉科	2019	2020
喉頭直達鏡検査	7	1
組織試験採取、切採法 (喉頭)	6	1
皮下腫瘍摘出術	3	0
外耳道異物除去術	0	1
外耳道形成手術	0	1
鼓膜形成手術	2	3
鼓膜切開術	1	0
鼓膜チューブ挿入術	16	10
鼓室形成術	2	1
鼻前庭嚢胞摘出術	0	1
鼻内異物摘出術	1	0
鼻甲介切除術	1	0
粘膜下鼻甲介切除術	3	2
鼻茸摘出術	1	0
鼻副鼻腔腫瘍摘出術	1	4
内視鏡下鼻腔手術	4	0
鼻中隔矯正術	10	1

内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅰ	0	1
内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅱ	0	0
内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅲ	24	10
内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅳ	6	3
アデノイド切除術	15	8
下咽頭腫瘍摘出術	1	1
中咽頭腫瘍摘出術	1	0
咽頭悪性腫瘍手術	0	1
口蓋扁桃手術 (左右)	46	40
副咽頭間隙腫瘍摘出術	1	0
深頸部膿瘍切開術	2	0
気管切開術	22	12
喉頭粘膜下異物挿入術	2	0
喉頭・声帯ポリープ切除術	7	3
咽頭嚢腫摘出術	3	0
喉頭腫瘍摘出術 (直達鏡)	3	6
喉頭悪性腫瘍手術	2	0
気管切開孔閉鎖術	4	0
口腔底腫瘍摘出術	0	1
甲状舌管嚢胞摘出術	1	0
頬腫瘍摘出術	0	1
舌悪性腫瘍手術	0	1
舌繫帯痕性短縮矯正術	0	1
口唇腫瘍摘出術	0	1
顎下腺摘出術	2	0
顎下腺腫瘍摘出術	1	1
耳下腺腫瘍摘出術	5	4
甲状腺部分切除、甲状腺腫瘍摘出術	6	4
甲状腺悪性腫瘍手術	2	7
副甲状腺腺腫過形成手術	2	1
頸嚢摘出術	0	1
頸部廓清術	1	0
リンパ節摘出術	6	19
入室後手術中止	0	1
計	223	154
手術患者数	149	113

表12 産婦人科	2019	2020
バルトリン腺嚢胞腫瘍摘出術	0	1
創傷処理	0	1
リンパ節群郭清術 (後腹膜)	1	0
腹壁腫瘍摘出術	1	0
試験開腹術	0	1
大網切除術	3	1
小腸切除術	1	0
腹腔鏡下大網、腸管膜、後腹膜腫瘍摘出術	0	2
虫垂切除術	2	1
処女膜切開術	0	1
女子外性器腫瘍摘出術	1	0

外陰血腫除去術	0	1
膣壁裂創縫合術	1	0
膣壁尖圭コンジローム切除術	2	0
膣壁腫瘍摘出術	1	0
子宮内膜搔把術	8	13
子宮頸管ポリープ切除術	2	0
子宮頸部摘出術（膣部切除術を含む）	30	27
子宮筋腫摘出（核出）術（腹式）	1	0
子宮筋腫摘出（核出）術（膣式）	1	0
腹腔鏡下子宮筋腫摘出術	8	6
子宮鏡下子宮筋腫摘出術	2	0
子宮鏡下有茎粘膜下筋腫切出術	6	2
子宮内膜ポリープ切除術	4	3
腹腔鏡下子宮膣上部切断術	1	0
子宮全摘術	24	10
腹腔鏡下膣式子宮全摘術	34	66
子宮悪性腫瘍手術	2	8
子宮附属器癒着剥離術（両側、腹腔鏡）	2	1
卵管結紮術（両側、開腹）	7	6
子宮付属器腫瘍摘出術 開腹	21	18
子宮付属器腫瘍摘出術 腹腔鏡下	50	49
卵管全摘除術(両側、開腹)	7	0
卵管全摘除術（両側、腹腔鏡）	5	5
子宮付属器悪性腫瘍手術	3	2
会陰（膣壁）裂創縫合術	1	1
帝王切開術 選択式	67	46
緊急	64	50
胎盤用手剥離術	1	0
子宮頸管縫縮術	2	4
流産手術	13	23
子宮内容除去術	6	1
異所性妊娠手術（腹腔鏡）	5	3
不妊手術	3	1
入室後手術中止	2	1
計	390	355
手術患者数	321	302

表13 脳神経外科	2019	2020
穿頭脳室ドレナージ術	5	9
穿頭術（トレパナチオン）	1	0
減圧開頭術	3	3
広範囲頭蓋底腫瘍切除・再建術	1	0
機能的定位脳手術	0	1
頭蓋内微小血管減圧術	1	0
頭蓋骨腫瘍摘出術	1	0
頭蓋内血腫除去術（開頭・硬膜下）	10	4
（開頭・脳内）	1	3
慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	24	18
脳内異物摘出術	0	1

脳膿瘍全摘術	2	1
頭蓋内腫瘍摘出術	12	15
内視鏡下経鼻的腫瘍摘出術(下垂体)	3	1
髄液シヤント抜去術	1	1
水頭症手術	9	8
脳動脈瘤クリッピング	15	12
脳血管内手術	23	11
髄液漏閉鎖術	1	1
頭蓋骨形成術	3	3
脊髄腫瘍摘出術	2	0
経皮的頸動脈ステント留置術	1	1
動脈血栓内膜摘出術	2	2
動脈形成術・吻合術（頭蓋内動脈）	3	4
気管切開術	2	2
手術中止	1	0
計	127	101
手術患者数	104	99

表14 循環器内科	2019	2020
経皮的動脈弁拡張術	1	0
ステントグラフト内挿入術（腹部）	11	7
（腸骨）	0	1
経皮的カテーテル心筋焼灼術	58	74
体外ペースメーカー	1	0
ペースメーカー移植術	38	30
ペースメーカー交換術	15	22
両心室ペースメーカー移植術	1	0
埋込型除細動器移植術	4	2
埋込型除細動器交換術	1	1
両室ペーシング機能付植込型除細動器移植術	1	2
両室ペーシング機能付植込型除細動器交換術	0	2
大動脈バルーンパンピング法	4	0
経皮的心肺補助法	2	0
四肢の血管拡張術	8	1
バイパス移植術	1	0
血管塞栓術	1	1
動脈血栓内膜摘出術	1	2
入室後手術中止	0	1
計	148	146
手術患者数	137	142

表15 歯科	2019	2020
抜歯手術	486	518
上顎洞陥入歯除去術	0	1
歯根嚢胞摘出術	25	37
歯根端切除手術	18	43
歯の再植術	2	1
歯の移植手術	4	10
骨瘤除去手術	5	11

歯槽骨整形手術	0	2
歯肉・歯槽部腫瘍手術	1	0
口腔内消炎手術	1	4
口腔外消炎手術	1	0
舌腫瘍摘出術	0	3
舌悪性腫瘍手術	0	2
頬、口唇、舌小帯形成術	2	0
口唇腫瘍摘出術	1	1
術後性上顎嚢胞摘出術	1	0
上顎骨切除術	0	2
下顎骨部分切除	1	1
顎骨腫瘍摘出術	20	24
顎骨嚢胞開窓術	1	1
口蓋隆起形成術	1	3
下顎隆起形成術	6	3
腐骨除去手術	11	7
外歯瘻手術	2	0
唾石摘出術	1	0
唾液腺管形成術	0	1
上顎骨折観血の手術	0	1
下顎骨折観血の手術	2	1
下顎関節突起骨折観血の手術	1	0
口腔内軟組織異物除去術	1	0
顎骨内異物除去術	1	0
顎関節授動術	1	2
歯科インプラント摘出術	2	0
う蝕処置	1	0
感染根管治療	1	0
口蓋腫瘍摘出術	1	0
舌部分切除	1	0
頬粘膜腫瘍切除術	2	1
頬粘膜悪性腫瘍切除術	0	1
頬腫瘍摘出術	0	2
入室後手術中止	0	2
計	604	685
手術患者数	203	254

表18 精神神経科	2019	2020
電気痙攣療法		
閉鎖循環式全身麻酔による	247	241
計	247	241
手術患者数	247	241

表16 救急科	2019	2020
気管切開	1	0
計	1	0
手術患者数	1	0

表17 麻酔科	2019	2020
中心静脈注射用カテーテル挿入	49	29
EDチューブ挿入術		2
硬膜外麻酔	3	6
計	52	37
手術患者数	52	36

統計

院内感染報告集計結果（平成31年度－令和2年度）

Report of hospital infection in the Sunagawa City Medical Center

齊藤 拓也
Takuya Saito

要 旨

当院における平成31年度-令和2年度の院内感染発生報告数と発生状況について報告する。

Key Word : Nosocomial infection report

はじめに

砂川市立病院における平成31年度-令和2年度の院内感染発生報告数と発生状況について報告する。

期 間

平成31年4月1日～令和2年3月31日 令和2年4月1日～令和3年3月31日

結 果

I.MRSA院内感染発生報告状況

1) MRSA 月別検出数 平成31年4月1日～令和2年3月31日

表1 単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
保菌/持ち込み	3	2	4	7	3	3	0	4	10	1	5	2	44
院内発生	2	1	3	4	2	1	3	3	2	4	1	0	26
合計	5	3	7	11	5	4	3	7	12	5	6	2	70

MRSA 月別検出数 令和2年4月1日～令和3年3月31日

表2 単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
保菌/持ち込み	2	9	1	5	9	5	15	2	1	5	1	0	55
院内発生	0	3	1	1	4	2	1	2	3	2	1	2	22
合計	2	12	2	6	13	7	16	4	4	7	2	2	77

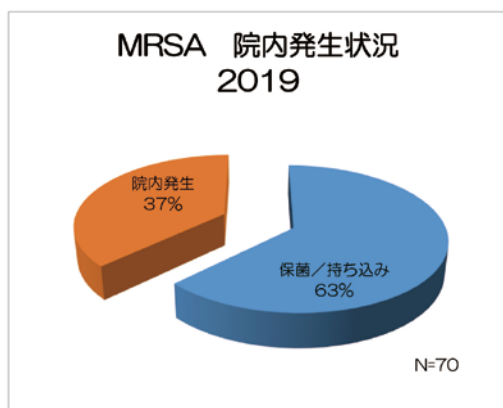


図1

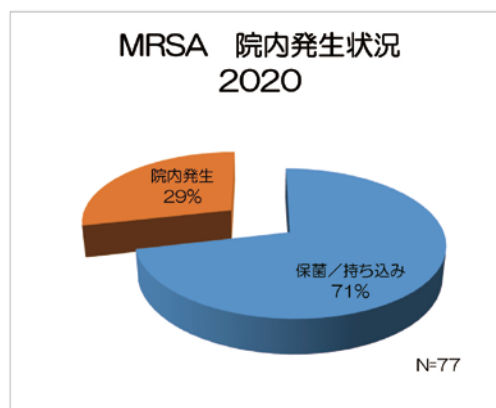


図2

2) 年度別MRSA院内発生状況

表3 単位：件

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成21年度	12	15	10	20	19	8	15	9	18	3	7	4	140
平成22年度	11	4	28	15	20	21	15	19	9	11	17	16	186
平成23年度	2	5	9	13	9	6	3	5	7	13	9	7	88
平成24年度	4	9	11	13	21	14	8	11	11	14	11	14	141
平成25年度	10	17	5	4	7	4	7	13	12	13	8	5	105
平成26年度	3	19	11	7	14	3	4	1	8	7	15	7	99
平成27年度	9	14	9	9	9	4	6	5	5	5	10	7	92
平成28年度	11	23	2	2	11	13	3	7	6	8	4	13	103
平成29年度	10	8	12	13	10	5	3	2	4	5	6	5	83
平成30年度	3	1	4	10	8	5	5	8	11	9	3	5	72
令和元年度	5	3	7	11	5	4	3	7	12	5	6	2	70
令和2年度	2	11	4	6	12	7	16	4	4	7	2	2	77

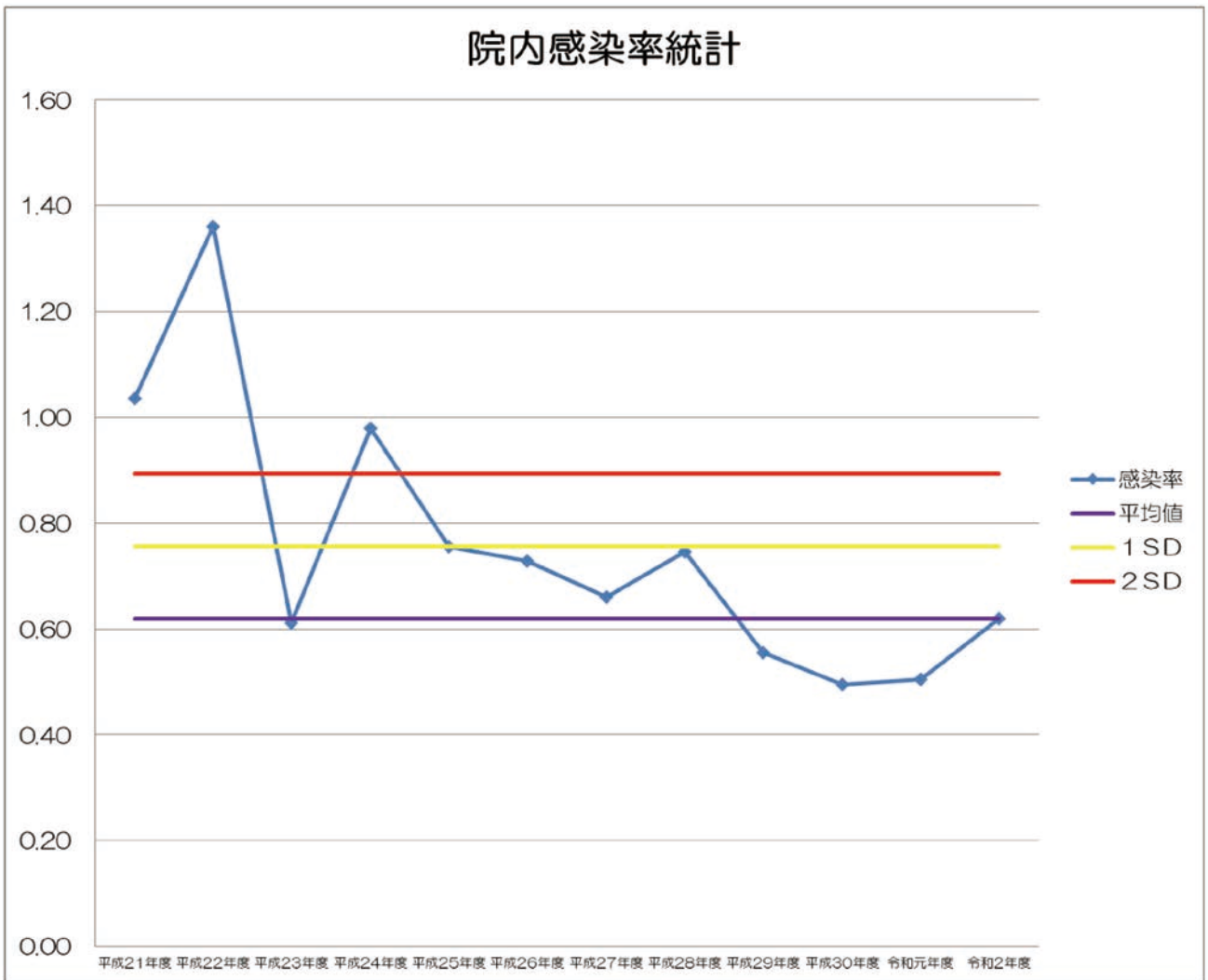


図3

院内感染率＝院内感染数÷延入院患者数×1000

II. 院内感染発生報告状況

1) 検出菌別院内感染発生状況 平成31年4月1日~令和2年3月31日

表4 単位: 件

検出菌名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
CD	4	7	3	9	9	4	6	7	4	1	6	8	68
大腸菌		3				1		2					6
MSSA					1			1		1		2	5
MRSA	1								1		1	1	4
CNS			1		1	1			1				4
エンテロバクター	1										2		3
クレブシエラ	1								1				2
セレウス	1						1						2
腸球菌								1		1			2
マルトフィリア								1		1			2
インフルエンザ								1					1
その他				2		1			1	1			5
合計	8	10	4	11	11	7	7	13	8	5	9	11	104

検出菌別院内感染発生状況 令和2年4月1日~令和3年3月31日

表5 単位: 件

検出菌名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
CD		1		1		1	2	4	1	4	4	4	22
CNS		1	1	1		2	3				1	1	10
大腸菌		2	2			1		1				1	7
クレブシエラ		3		1			1	1					6
MSSA						2	1					1	4
MRSA						2	2						4
エンテロバクター			1					2		1			4
セレウス					1			1		1			3
モルガネラ			1		1							1	3
腸球菌			1									1	2
バクテロイデス						1							1
インフルエンザ													0
その他				1		1							2
合計	0	7	6	4	2	10	9	9	1	6	5	9	68

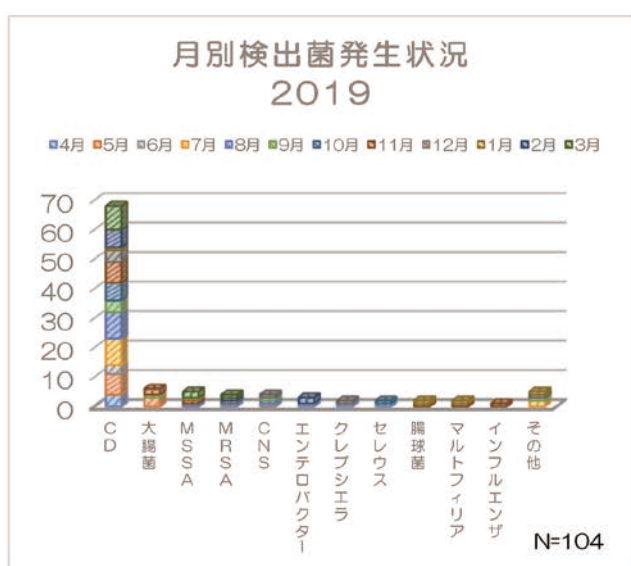


図4

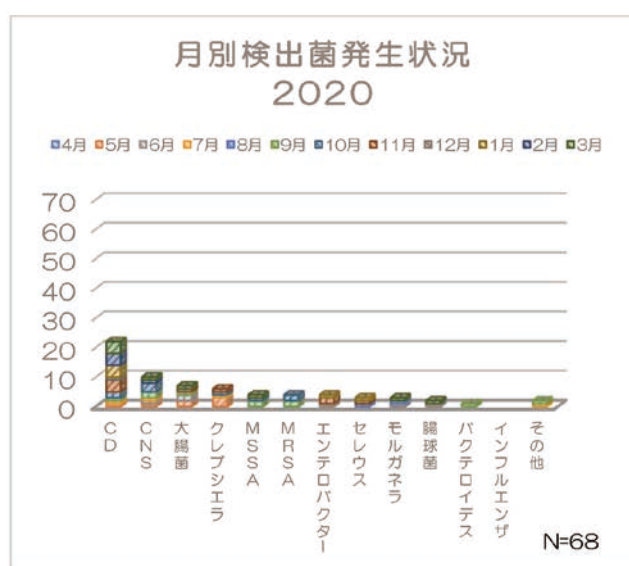


図5

2) 検体別院内感染発生状況 平成31年4月1日～令和2年3月31日

表6 単位：件

検体名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
便	4	7	3	9	9	4	6	7	4	1	6	8	68
血液	3	2	1	2	2	3	1	4	3	3	2	2	28
喀痰										1		1	2
膿汁								1	1				2
インフル								1					1
尿		1											1
術創部											1		1
その他	1												1
合計	8	10	4	11	11	7	7	13	8	5	9	11	104

検体別院内感染発生状況 令和2年4月1日～令和3年3月31日

表7 単位：件

検体名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
血液		4	6	3	2	5	5	5		2	1	4	37
便		1		1		1	3	4	1	4	4	4	23
カテ先		1				3							4
喀痰						1	1						2
尿												1	1
インフル													0
合計	0	6	6	4	2	10	9	9	1	6	5	9	67

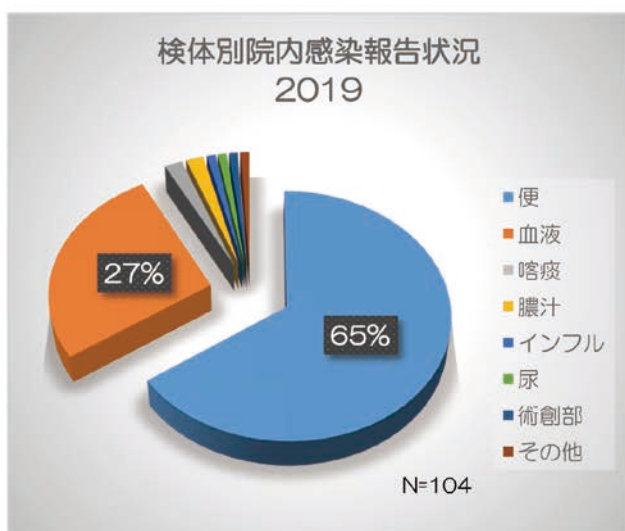


図6

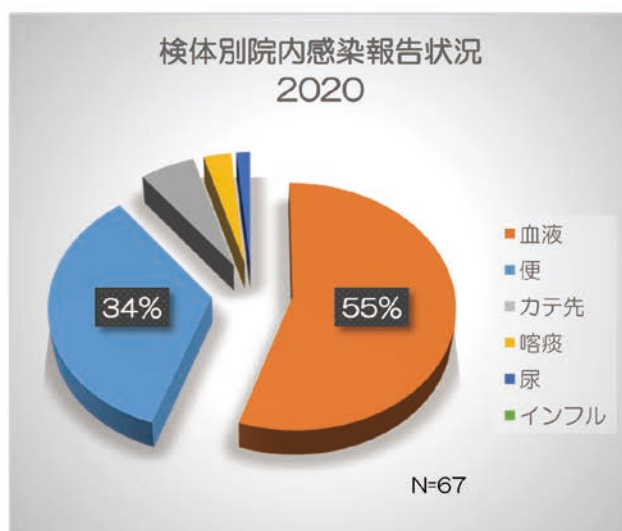


図7

Ⅲ. 薬剤耐性菌検出状況

1) 年度別 院内耐性菌検出状況

表8 単位：%

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
肺炎球菌	53.3%	52.6%	46.2%	30.4%	50.7%	43.4%	47.2%	44.4%	45.8%
黄ブ菌	45.7%	41.1%	30.8%	29.6%	29.6%	26.9%	26.6%	27.0%	28.6%
大腸菌	25.4%	25.4%	27.4%	21.3%	24.6%	23.8%	16.6%	24.4%	20.0%
緑膿菌	14.8%	8.1%	10.1%	7.5%	6.9%	12.8%	4.4%	22.0%	15.1%
肺炎桿菌	0.3%	0.6%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

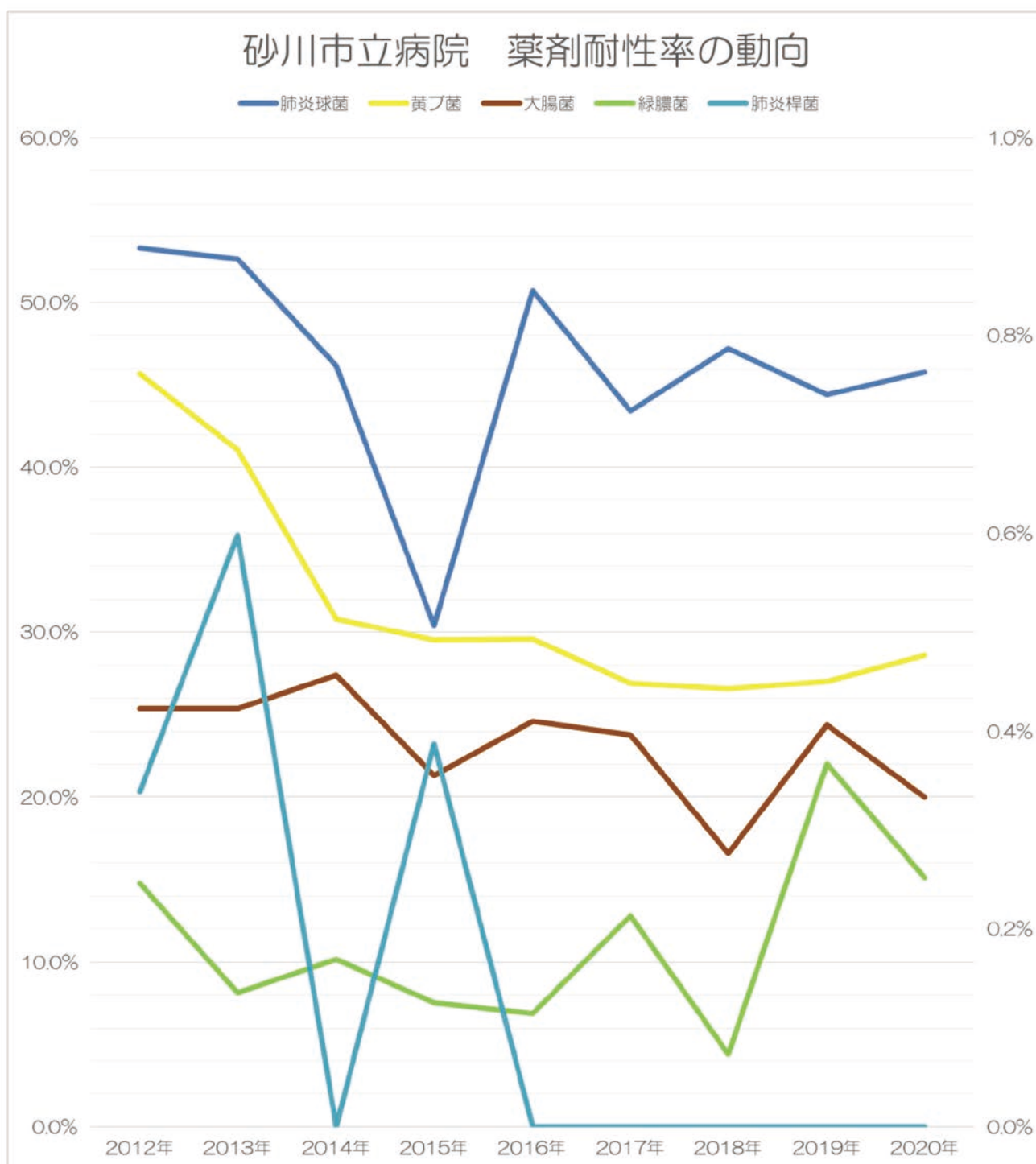


図8

薬剤耐性率＝一定の薬剤に対して耐性のある菌の総数／検出され菌の総数×100

考察

平成31年度から令和2年度にかけてのMRSA発生状況に関しては、院内での検出件数は横ばいであるが、院内感染率は若干上昇した（表1・2・3、図1・2・3参照）。また、当院の黄色ブドウ球菌におけるMRSAの割合も横ばいだが若干上昇した（図8参照）。MRSA発生数が減っているのに院内感染率が上昇した理由の一つとして、COVID-19による延入院患者数の減少がある。また、明らかな因果関係はデータとして示すことはできないが、COVID-19の流行による世界的な物資の減少により、手指衛生剤や個人防護具の配布が潤沢ではなかったため、標準予防策・感染経路別予防策の徹底が行われていなかった可能性もある。今後は、学習会や啓蒙活動など通じて、改めて感染対策の重要性を指導する必要があると感じる。MRSA患者数が増加しないように手指衛生の徹底や感染対策の徹底が行えるようにオンデマンドやOJTを活用した啓蒙活動、年2回の院内感染対策研修会、さらには感染対策学習会などを通してMRSAの軽減を目指したいと考える。

院内感染発生状況としては、例年CDIの割合が多く発生しているが、令和2年度ではCDIの割合が減少した（表4・5、図4・5参照）。CDIの割合が増加している原因の一つには、検査方法として、GDH抗原とTOXの両方を検査できるようになったため、感度の高いGDH抗原が陽性となり増加したことも一因と考える。CDIの低下に向けて、環境整備の強化や流水と石鹸による手洗いの必要性をICT会議や学習会などを通じて周知し、さらにオンデマンドやOJTを活用した啓蒙活動を行った。全体的な院内感染自体は2年間を比較すると減少傾向にあり（表6・7、図6・7参照）、強化した感染対策や啓蒙活動が功を奏していると感じる。また、毎年流行し、院内感染も引き起こすインフルエンザウイルスは、COVID-19の影響も関係したのか、当院での発生はなかった。今後もCOVID-19感染対策に加えて、標準予防策・感染経路別予防策など、感染症に合わせた感染対策を徹底して、入院患者を感染症から守っていく必要があると考える。

薬剤耐性菌検出状況では、日本におけるAMRアクションプラン¹⁾での数値目標と比較する。

（図8参照）

- ・肺炎球菌：目標値15%以下に対し、45.8%と達成できず、ここ数年はほぼ横ばい。
- ・黄色ブドウ球菌：目標値20%以下に対し、28.6%と達成できず、再び若干耐性化してきている。
- ・大腸菌：目標値25%以下に対し、20.0%と達成した。
- ・緑膿菌：目標値10%以下に対し、達成されていた年

もあるが令和2年度は15.1%と達成できず。

・肺炎桿菌：目標値0.1-0.2%に対し、0.0%と達成できなかった。

日本におけるアクションプランの達成年数は終了したが、今後も薬剤耐性菌が増加しないよう、薬剤耐性状況を注視し、抗菌薬適正使用ラウンド、ASTラウンドを実施し、抗菌薬が適正使用されるよう啓蒙活動を行っていく。

当院ではリンクナース制度を廃止し、平成31年度から各部署における感染管理を徹底することを目的にインフェクションコントロールマネージャー（以下ICM）による部署別感染管理を開始した。ICMが各部署で感染管理に対する教育や感染対策の徹底を図ることにより現場に浸透したものとなり、さらなる医療関連感染の低減につながっていると感じる。

今後も学習会・研修会の継続で啓蒙活動を行い、ICTメンバーや現場スタッフと協力して院内感染を予防し安心・安全な入院環境を提供していきたい。また、院内感染状況を把握し、院内感染が起きてしまった場合には早期に対応していき、患者にとっても病院にとっても質の高い感染対策を提供していきたいと考える。

参考

- 1) 厚生労働省 AMRアクションプラン（2016）：
〈<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900-000-Kenkoukyoku/0000120777.pdf>〉2021.10.1アクセス